

政策 1

平和と人権を尊重するまちづくり

目標

(めざすまちの姿)

市民一人ひとりの人権が尊重され、
だれもが対等な社会の構成員として平和に安心して暮らせるまち

現状と課題

本市では、恒久平和の実現と核兵器の廃絶を願い、「非核平和都市宣言」を行い、啓発などに取り組んできました。しかし、世界各地では、今なおテロや紛争などの問題が起こっており、平和祈念資料館を中心に、平和の尊さへの理解を深める取組を進めていく必要があります。

人権尊重の意識の高まりは国際的な潮流となっており、本市においてもさまざまな啓発活動や人権教育などに取り組んでいます。しかし、差別や偏見などの人権侵害の事例は依然としてみられるとともに、LGBT など性的マイノリティの人に対する配慮なども課題となっており、人権問題の解消に向けた取組を一層進めていく必要があります。

また、女性の社会進出が進んでいる一方で、社会には性別による固定的な役割分担意識が未だ根強く残っており、男女共同参画社会の実現の障害となっています。さらに、ドメスティック・バイオレンス（DV）が深刻化しており、本市では、女性への暴力や児童虐待の防止を一体として捉え、「W リボンプロジェクト」などの啓発活動を進めてきました。今後も男女共同参画社会の実現やDVなどの暴力の防止に向け、取組の充実を図る必要があります。

市民意識指標
(主に関連するもの)

	H26	R4	R10 目標
人権意識が向上していると思う市民の割合	21.7%	36.1%	30%
男女がともに個性や能力を發揮できている社会になってきていると思う市民の割合	30.8%	37.1%	50%

目標への評価
(R4)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えばそう思わない
市民	57.4%	33%	8.8%
市職員	70%	26%	4%

令和元年度（2019年度）以降のトピックス

- ・ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を受け、ウクライナ避難者を受け入れるとともに総合支援窓口を設置しました。



施 策

1-1-1 非核平和への貢献 市民部

平和に対する市民の意識の高揚を図るため、戦争の悲惨さや平和の尊さを後世に伝えるための啓発などを行います。

1-1-2 人権の保障 市民部・学校教育部

さまざまな人権問題の解消に向け、あらゆる機会を通じて、人権に関する啓発や教育を行うとともに、性的マイノリティの人に対する配慮など新たな人権課題に取り組みます。また、人権問題に関して悩みや不安を抱える市民に対し、相談などの支援を行います。

1-1-3 男女共同参画の推進 市民部

男女共同参画に関する意識改革を図り、性別にかかわらず対等な立場で働き暮らすことができる環境を整えるため、啓発などの取組を進めます。また、DV などの暴力に悩む市民への相談などを行うとともに、DV 防止に向けた啓発などの取組の充実を図ります。

■ 施 策 指 標 ■

施策	指標名	策定時	見直し時 (R3)	目 標 (R10)
1-1-1	平和祈念資料館の年間利用者数	5 万人 (H29 年度)	3.2 万人	<u>5 万人</u>
1-1-2	人権に関する啓発活動や講演会などへの年間参加者数	6.1 万人 (H29 年度)	<u>0.4 万人</u>	6.5 万人
1-1-2	人権をテーマにした標語やポスターなどの作品を市の事業へ応募した小・中学校の数	36 校 (H29 年度)	<u>32 校</u>	54 校
1-1-3	市職員の管理職（課長代理級以上）における女性の割合	25.1% (H30 年度)	<u>25.5%</u>	30%
1-1-3	交際相手からの暴力（デート DV）に関する中学生を対象とした啓発講座の実施校数	3 校 (H29 年度)	<u>13 校</u>	18 校

▶▶▶ 関連する主な個別計画

- 人権施策基本方針 ○(仮称)人権施策推進方針・計画 ○男女共同参画プラン ○わが都市すいたの教育ビジョン

▶▶▶ 関連する主な条例

- 人権尊重の社会をめざす条例 ○男女共同参画推進条例

第4次総合計画見直しに係る基本計画素案(第2回作業部会検討分) 事務局コメント (本文への事務局追加案は青字点線)

事務局コメント		担当室課コメント・対応	
骨子案	現状と課題・トピックス		
	施策・指標	・1-1-2の施策指標「人権に関する啓発活動や講演会などへの年間参加者数」がC評価ですが、見直しの必要はありませんか。	
中核市移行の視点	現状と課題・トピックス		
	施策・指標		
コロナ禍による影響	現状と課題・トピックス		
	施策・指標		
策定後の主な動向 (見直しの基本方針)	現状と課題・トピックス		
	施策・指標		
個別計画・調査	現状と課題・トピックス		
	施策・指標		
その他	現状と課題・トピックス	・この間のトピックスとして、ウクライナからの避難者支援を記載しています。	
	施策・指標	・1-1-3の施策指標「市職員の管理職(課長代理級以上)における女性の割合」に対し、施策の関連部局総務部(人事室)は入れなくてよいですか。	
ローカルSDGs指標	施策・指標		
関連するSDGsゴール (現在の総計評価に掲げるゴールと変更があった場合)		過不足がないか確認してください。	

政策 2

市民自治によるまちづくり

目標

(めざすまちの姿)

市民自治の確立に向けて、市民と行政とがそれぞれの役割を担うとともに、市民自らが地域課題の解決に向けて行動するまち

現状と課題

多様化する市民ニーズに対応するとともに、地域の特性を生かしたまちづくりや、地域課題の解消を図るため、市民自治によるまちづくりを進める必要があります。そのためには、地域課題や市政に関する情報を市民と行政とで共有し、市民参画と協働の取組を広げていくことが重要です。

本市では、パブリックコメントの実施や審議会などにおける意見聴取により市民意見を市政へ反映するとともに、市民公益活動センター（ラコルタ）の設置など、市民公益活動への支援や、さまざまな分野における市民団体や事業者との協働の取組の推進に努めてきました。また、福祉、環境、文化などのさまざまな分野での市民活動や、地域での自主的なまちづくり活動など、活発な市民活動は本市の強みとなっています。一方で、1世帯あたり人数の低下や地域活動を支えていた高齢者・女性の就業機会の増加、本市に地縁を有しない転入者の増加等の理由により自治会加入率が低下するなど、地域コミュニティの希薄化や、地域活動の担い手不足などが課題となっています。さまざまな世代の知識や経験を生かした地域コミュニティの活性化や、地域活動の担い手の育成が進むよう、支援する必要があります。

市民意識指標
(主に関連するもの)

	H26	R4	R10 目標
市報すいた、ケーブルテレビ、ホームページなど、市が発信する情報に満足している市民の割合	25.9%	39.0%	41%
何らかの機会を通じて市政に参画したことがある市民の割合	4.0%	2.9% (H30)	8%

目標への評価
(R4)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えばそう思わない
市民	37.9%	46.3%	14.8%
市職員	51%	37%	12%

令和元年度（2019年度）以降のトピックス

- ・個人情報保護条例を改正しました。
- ・コロナ禍においても自治会活動が続けられるよう、感染防止対策や書面決議の手法の紹介などの活動支援を行いました。

施策

1-2-1 情報共有の推進

総務部・市民部

市政に関する情報を市民と行政とで共有するため、市のホームページや「市報すいた」などにより、市民にとってわかりやすい情報提供を行います。また、情報公開制度を円滑に運用し、市民の知る権利を保障するとともに、市が保有する個人情報について適正な取扱いを確保し、個人情報保護の徹底を図ります。

1-2-2 市民参画・協働の推進

市民部

市民参画を進めるため、審議会などへの市民委員の参画の促進や広聴・相談体制の強化を図ります。また、さまざまな団体などとの協働の取組を進めるとともに、市民公益活動への支援を行います。

1-2-3 コミュニティ活動への支援

市民部

コミュニティの活性化を図るため、自治会や市民団体などの活動への支援を行います。また、地域の実情に合わせた活動の場づくりに取り組みます。

■ 施策指標 ■

施策	指標名	策定時	見直し時 (R3)	目標 (R10)
1-2-1	市のホームページの閲覧者数 (月平均)	14.5万人 (H29年度)	<u>47.2万人</u>	<u>50万人</u> (仮)
1-2-2	市民委員の公募を行っている審議会 などの割合 (公募できないものを除く)	80.4% (H29年度)	<u>97.3%</u>	100%
<u>1-2-2</u>	<u>市民委員の公募枠に対する応募者の 割合 (平均値)</u>	=	<u>●●%</u>	<u>200%</u>
1-2-2	市民公益活動センター(ラコルタ)の 年間利用者数	6.4万人 (H29年度)	<u>2.8万人</u>	7万人
1-2-3	自治会加入率	51.0% (H29年度)	<u>46.0%</u>	60%
<u>1-2-3</u>	<u>検討中</u>			
1-2-3	コミュニティセンターや市民セン ターなどコミュニティ施設の年間 利用件数	4.5万件 (H29年度)	<u>2.6万件</u>	4.8万件

▶▶▶ 関連する主な個別計画

○人権施策基本方針

▶▶▶ 関連する主な条例

○自治基本条例 ○吹田市民の意見の提出に関する条例 ○情報公開条例 ○個人情報保護条例

第4次総合計画見直しに係る基本計画素案(第2回作業部会検討分) 事務局コメント (本文への事務局追加案は青字点線)

事務局コメント		担当室課コメント・対応	
骨子案	現状と課題・トピックス		
	施策・指標	・施策 1-2-1 には、SNS についての記載は追加不要ですか。	
中核市移行の視点	現状と課題・トピックス		
	施策・指標		
コロナ禍による影響	現状と課題・トピックス		
	施策・指標		
策定後の主な動向 (見直しの基本方針)	現状と課題・トピックス		
	施策・指標		
個別計画・調査	現状と課題・トピックス	・令和4年4月に個人情報保護条例の改正があったため、令和元年度以降のピックスに追加しました。	
	施策・指標		
その他	現状と課題・トピックス		
	施策・指標	・1-2-2 の施策指標 R3 実績を記載してください。	
ローカル SDGs 指標	施策・指標		
関連する SDGs ゴール (現在の総計評価に掲げるゴールと変更があった場合)		過不足がないか確認してください。	

政策 1

災害に強く安心して暮らせるまちづくり

目標

(めざすまちの姿)

市民一人ひとりの防災意識と地域防災力・減災力が高まり、
災害に強いまち

現状と課題

想定を上回る大規模な自然災害をはじめ、**武力攻撃事態**やテロ、新型コロナウイルスなど、さまざまな危機事象への対応が進められる中、市民の防災対策への関心も非常に高くなっており、さらなる取組の強化が必要です。

災害への備えや対応として、本市では、**災害対応体制の迅速な構築、被災情報の収集及び地域や関係機関との情報共有体制の強化**を目指し、**災害対応オペレーションシステムや災害情報システムを備えた危機管理センターを整備するとともに、優先度の高い業務に職員や資源を投入する取組を進めてきました**。また、**備蓄倉庫の整備や分散備蓄、備蓄品目の充実、防災ハンドブックやハザードマップの作成及び全戸配布、地域・大学・企業への防災講座、民間事業者との災害時応援協定の締結などの取組を進めるとともに、緊急事態に際しての避難行動をより確実にするため、情報伝達手段の多様化など、充実強化に努めてきました**。

また、高齢化に伴い、年々増加する**出動件数及び救急出動件数**への対応として、**消防隊と救急隊の増隊**を行います。しかし、行政による「公助」には限界があり、自分の命は自分で守る「自助」、地域の助け合いによる「共助」が重要です。本市は、「安心安全の都市（まち）づくり宣言」を行い、市民、事業者との協働のもと、安心安全に関する取組を進めてきました。

さまざまな危機事象に備えるとともに、被害を最小限に抑えるため、消防、救急救命など現場対応力の充実を図り、関係機関と連携しながら、危機管理体制を**一層強化**していく必要があります。地域においては、自主防災組織や消防団などによる助け合いの取組が重要になる一方で、高齢化などによる活動の担い手不足が課題となっています。一人ひとりの防災意識の向上を図るとともに、**地域における若者や女性などの参画を推進し**、地域防災力・減災力の向上に向けた取組の充実が必要です。

市民意識指標
(主に関連するもの)

	H26	R4	R10 目標
地震や風水害などへの対策に満足している市民の割合	19.0%	25.7%	70%
災害に備えている市民の割合	27.7%	42.8%	75%

目標への評価
(R4)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えばそう思わない
市民	44.2%	41.4%	13.5%
市職員	63%	29%	8%

令和元年度（2019年度）以降のトピックス

・災害発生時に本市北部の対応拠点となる、消防機能や土木機能を備えた北部消防庁舎等複合施設（南千里駅前建設）が令和6年4月から供用開始します。本施設においては、年々複雑多様化する消防需要に広域的に対応し、消防サービスの高度化を図るため、5市^(※)での消防通信指令業務の共同運用も開始します。

(※) 吹田市・豊中市・池田市・箕面市・摂津市

施 策

2-1-1 危機管理体制の充実 総務部

自然災害や新型コロナウイルスなどさまざまな危機事象に、迅速かつ的確に対応するため、防災協定の締結などを含む関係機関との連携を進め、情報伝達体制や災害対応力、リスクコミュニケーションなどの強化を図ります。また、災害時にも、優先すべき行政サービスが適切に提供できるよう、業務継続体制の充実を図ります。

2-1-2 防災力・減災力の向上 総務部

市民の防災意識や地域防災力・減災力の向上を図るため、地域が主体となった講座や訓練などの取組が進むよう、市民への意識啓発や自主防災組織活動への支援などを行います。

2-1-3 消防・救急救命体制の充実 消防本部

火災、救急、救助などに迅速かつ的確に対応できるよう、消防力の充実・強化を図ります。また、消防団や自主消火組織などを育成するとともに、火災予防や応急手当などに関する普及啓発を行います。

■ 施 策 指 標 ■

施 策	指 標 名	策定時	見直し時 (R3)	目 標 (R10)
2-1-1	各種団体との防災協定締結数	64 件 (H29 年度)	94 件	100 件
2-1-2	連合自治会単位での自主防災組織の結成率	70.5% (H29 年度)	82.3%	100%
2-1-3	消防団員数	179 人 (H30 年度)	171 人	190 人
2-1-3	普通救命講習などの年間受講者数	1 万人 (H29 年度)	0.3 万人	1 万人

▶▶▶ 関連する主な個別計画

- 地域防災計画 ○国民保護計画 ○業務継続計画

▶▶▶ 関連する主な条例

—

第4次総合計画見直しに係る基本計画素案(第2回作業部会検討分) 事務局コメント (本文への事務局追加案は青字点線)

事務局コメント		担当室課コメント・対応
骨子案	現状と課題・トピックス	・北部消防庁舎等複合施設建設、5市消防通信指令事務共同運用について、「現状と課題」や「施策」の中で触れる必要はないでしょうか。(事務局案は「令和元年度以降のトピックス」として表現)
	施策・指標	
中核市移行の視点	現状と課題・トピックス	・中核市移行後の地域防災計画の改定によって施策に補足すべきことはないでしょうか。
	施策・指標	
コロナ禍による影響	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
策定後の主な動向 (見直しの基本方針)	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
個別計画・調査	現状と課題・トピックス	・吹田市受援計画、吹田市備蓄計画の記載は不要ですか。
	施策・指標	
その他	現状と課題・トピックス	・「…消防隊と救急隊の増隊を行います。」との修正ですが、「現状と課題」にはこれまで行ってきたことか課題を書く欄ですので、これから取り組むことは施策の方に盛り込んでください。
	施策・指標	
ローカル SDGs 指標	施策・指標	以下、関連指標がありますので、参考にしてください。 ・最寄りの緊急避難場所までの 2000m 以内の世帯割合 ・水害区域面積割合(5 か年平均)
関連する SDGs ゴール (現在の総計評価に掲げるゴールと変更があった場合)		・過不足がないか確認してください。 ・3 すべての人に健康と福祉を ・13 気候変動に具体的な対策を

政策 2

犯罪を許さないまちづくり

目標

(めざすまちの姿)

市民一人ひとりの防犯意識や犯罪を許さないという気運が高まり、だれもが安心安全に暮らせるまち

現状と課題

本市は、「安心安全の都市（まち）づくり宣言」を行い、市民、事業者との協働のもと、安心安全に関する取組を進めてきました。市内の犯罪は減少傾向にあります。依然として、空き巣やひったくりのほか、女性や子供、高齢者を狙った犯罪が多発しています。特に、近年は、高齢者を狙った特殊詐欺の手口は巧妙化し、インターネットを利用したサイバー犯罪や新たな悪質商法なども増加しています。また、成年年齢引下げに伴う契約に関する知識や社会経験の少ない若者を狙うトラブルが懸念されています。

そのような中、本市では、吹田警察署との情報連携を強化し、犯罪が多発している地域への防犯カメラの設置や青色防犯パトロールの活動支援など、地域における見守りの強化や消費生活センターでの相談、啓発などを進めています。一人ひとりの防犯意識を高めるとともに、地域防犯力の向上に向けた、より一層の取組が必要です。

市民意識指標
(主に関連するもの)

	H26	R4	R10 目標
治安が良いと感じる市民の割合	42.8%	57.3%	70%

目標への評価
(R4)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えばそう思わない
市民	52.8%	35.6%	10.9%
市職員	66%	30%	4%

令和元年度（2019年度）以降のトピックス

- ・街頭防犯カメラを増設したことにより、犯罪認知件数は減少傾向にあります。
- ・高齢者が利用する事業所等にちらしや資料を配布し、高齢者の特殊詐欺等被害防止のための協力を依頼しました。



施 策

2-2-1 防犯力の向上

総務部

~~地域の防犯力を向上させるため、地域の見守り活動の支援などを行います。また、市民一人ひとりの防犯意識を高めるため、警察や防犯協議会などと連携した防犯講座や広報活動などに取り組みます。~~ また、地域の防犯力を向上させるため、地域の見守り活動の支援や、防犯カメラの設置などを行います。

2-2-2 消費者意識の向上

市民部

悪質商法や特殊詐欺による被害、成年年齢引下げに伴うトラブルを未然に防止するため、消費者教育や啓発を進めます。また、多様化・複雑化する消費生活相談に的確に対応できるよう、関係機関との連携を強化しながら、消費者保護の取組を進めます。

■ 施 策 指 標 ■

施 策	指 標 名	策定時	見直し時 (R3)	目 標 (R10)
2-2-1	防犯に関する講座の年間受講者数	710 人 (H29 年度)	<u>0 人</u>	1,500 人
2-2-2	<u>消費者向けの講座の年間受講者数 及び高齢者イベントにおける消費 啓発の年間聴講者数</u>	—	<u>●●人</u>	<u>800 人</u>

▶▶▶ 関連する主な個別計画

—

▶▶▶ 関連する主な条例

○消費生活条例

第4次総合計画見直しに係る基本計画素案(第2回作業部会検討分) 事務局コメント (本文への事務局追加案は青字点線)

事務局コメント		担当室課コメント・対応
骨子案	現状と課題・トピックス	「サイバー犯罪」についての記載は必要ありませんか。
	施策・指標	
中核市移行の視点	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
コロナ禍による影響	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
策定後の主な動向 (見直しの基本方針)	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
個別計画・調査	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
その他	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
ローカル SDGs 指標	施策・指標	
関連する SDGs ゴール (現在の総計評価に掲げるゴールと変更があった場合)		過不足がないか確認してください。

政策 1 高齢者の暮らしを支えるまちづくり

目標

(めざすまちの姿)

高齢者が住み慣れた地域ですこやかに、安心して暮らし続けられるまち

現状と課題

全国と比較するとゆるやかではあるものの、本市においても 65 歳以上人口は年々増加しており、平成 25 年（2013 年）には高齢化率が 21%を超える「超高齢社会」となりました。地域によって高齢化の状況は異なっており、すでに高齢化率が 30%近くになっている地域もあります。また、ひとり暮らしの高齢者や「老老介護」の負担を抱える世帯も増えてきています。

本市では、高齢者生きがい活動センターの設置や「吹田市民はつらつ元気大作戦」など、高齢者の生きがいづくりや介護予防の取組を進めています。また、地域包括支援センターの増設など身近な場所での相談・支援体制の充実を図るなど、高齢者を地域で見守り支え合える体制づくりを進めています。

今後、本市においても高齢化はますます進展し、**令和 7 年**（2025 年）には、いわゆる「団塊の世代」がすべて 75 歳以上となることから、後期高齢者の人口が大幅に増加し、医療や介護の需要が増大していくことが見込まれています。

そのような中、高齢者一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、生きがいづくりなどの機会や、住まい、医療、介護、予防、生活支援の各サービスが切れ目なく一体的に提供される地域包括ケアシステムを構築する必要があります。高齢者を見守り支え合える地域をつくとともに、持続可能な介護保険制度の運営に努める必要があります。

市民意識指標 (主に関連するもの)

	H26	R4	R10 目標
何らかの社会参加をしている高齢者の割合	59.5%	65.5% (H30)	70%

目標への 評価 (R4)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えばそう思わない
市民	61.7%	28.3%	9.6%
市職員	80%	17%	4%

令和元年度（2019 年度）以降のトピックス

- ・コロナ禍においても介護予防に取り組めるよう、従来の介護予防事業に加え、自宅でできる介護予防の啓発を進めています。
- ・コロナ禍において ICT 化が急激に進む中、高齢者のデジタルデバインド対策が必要となり、ICT リテラシー向上のための取組を進めています。



施 策

3-1-1 生きがいくくりと社会参加の促進

福祉部

高齢期を迎えても生きがいをもって、地域で健康に暮らすことができるよう、生涯学習やスポーツなどを通じた生きがいくくりの活動や就労、地域活動などの社会参加への支援を進めます。

3-1-2 暮らしを支える支援体制の充実

福祉部

可能な限り自立した生活を送れるよう、健康保持のための取組や介護予防の普及啓発などを進めます。また、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、身近なところでの相談・支援や在宅生活を支援するサービスの充実を図るとともに、在宅医療と介護の連携を進めるなど、地域全体で支え合う体制づくりを進めます。

3-1-3 介護保険制度の安定的運営

福祉部

質の高い介護サービスを安定的に供給できるよう、持続可能な介護保険制度の運営に努めます。介護ニーズの増加に対応するため、人材確保やサービスの質の向上を図るための取組などを行います。

■ 施 策 指 標 ■

施 策	指 標 名	策定時	見直し時 (R3)	目 標 (R10)
3-1-1	高齢者生きがい活動センターの年間利用者数	5.1 万人 (H29 年度)	<u>2.8 万人</u>	6 万人 <u>(見直し予定)</u>
3-1-2	後期高齢者のうち、要支援・要介護の認定を受けている人の割合	33.5% (H29 年度)	<u>32.9%</u>	32%
3-1-2	認知症サポーターの養成数 (累計)	2.2 万人 (H29 年度)	<u>2.7 万人</u>	<u>3.7 万人以上</u> <u>(検討中)</u>
3-1-3	受けている介護サービスに満足している利用者の割合	67.7% (H28 年度)	<u>79.3%</u> <u>(R1 年度)</u>	70%

▶▶▶ 関連する主な個別計画

○高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 ○地域福祉計画

▶▶▶ 関連する主な条例

○吹田市民のくらしと健康を支える福祉基本条例

第4次総合計画見直しに係る基本計画素案(第2回作業部会検討分) 事務局コメント (本文への事務局追加案は青字点線)

事務局コメント		担当室課コメント・対応
骨子案	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	<p>・3-1-2 の施策に、この間の「KDB データ等を活用した介護予防・フレイル予防」を踏まえ、データに基づいた分析などのフレーズの追加はできないでしょうか。EBPM など、データに基づいた事業実施は割と広い視点での施策の方向性だとも思います。</p> <p>・3-1-3 の目標値は、中間振り返りシートで「70%以上」に見直しとありましたが、見直しは不要となりましたか。</p>
中核市移行の視点	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
コロナ禍による影響	現状と課題・トピックス	<p>・R1 トピックスにおいて、コロナ禍における取組として、自宅でできる介護予防の取組の促進、コロナ禍において ICT 化が急激に進む中、高齢者の ICT リテラシーの向上に向けた取組を進めていることなどを触れています。この内容で良いか確認してください。</p>
	施策・指標	
策定後の主な動向 (見直しの基本方針)	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
個別計画・調査	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
その他	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
ローカル SDGs 指標	施策・指標	
関連する SDGs ゴール (現在の総計評価に掲げるゴールと変更があった場合)		<p>過不足がないか確認してください。特に「11 住み続けられるまちづくりを」について、政策 3-3 には入っていますが、3-1 には該当しませんでしょうか。「10 人や国の不平等をなくそう」も高齢者の関係で該当しませんでしょうか。</p>

政策 2 障がい者の暮らしを支えるまちづくり

目標

(めざすまちの姿)

障がいの有無にかかわらず、住み慣れた地域で安心して育ち、学び、働き、暮らし続けられるまち

現状と課題

本市では、障がい者手帳を所持する人が年々増加しており、**令和元**年度（**2019**年度）末においては、市民のおよそ **18** 人に 1 人が障がい者手帳を所持しています。

障がいの有無にかかわらず、個人として尊重され、ともに暮らせる社会を実現するため、障がい者にとっても暮らしやすいまちづくりを進める必要があります。**本市では、障がいに対する理解や配慮に係る啓発事業に取り組んでおり、**地域社会、学校、職場など、暮らしのさまざまな場面において、障がいに対する理解や**合理的**配慮が求められています。

そのような中、障がい者それぞれの状況に応じて、地域で安心して自立した暮らしを送ることができるよう、生涯にわたる切れ目のない相談・支援体制を構築する必要があります。また、障がい者に対する就労支援では、**就労支援ネットワーク会議を設置し、就労系事業者との連携のもとで事業を進めています。障がい者の社会参加を促進するため、障がい者が働きやすい環境を整えるための啓発などをさらに進める必要があります。**

市民意識指標 (主に関連するもの)

	H26	R4	R10 目標
障がい者を支える福祉・保健・医療サービスに満足している市民の割合	13.7%	19.6%	18%

目標への評価 (R4)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えばそう思わない
市民	53.5%	34.9%	10.0%
市職員	66%	29%	5%

令和元年度（2019年度）以降のトピックス

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大下においても、障がいに対する理解や配慮を促進するため、ITを活用した啓発事業を実施しました。



施 策

3-2-1 生活支援など暮らしの基盤づくり 福祉部

医療的ケアを要する障がい者を含め、障がい者が地域で生活するために必要な支援の充実を図るとともに、グループホームなどの住まいの場の確保に向けた取組を進めます。また、多様なニーズに対応できる相談・支援体制の構築を図ります。

3-2-2 社会参加の促進 福祉部

障がい者の社会参加の促進のため、余暇活動など外出時の移動支援などを進めます。また、就労支援の充実や福祉的就労の場における工賃向上のための取組を進めます。さらに、障がいに対する理解の促進や差別解消のため、啓発などに取り組みます。

■ 施 策 指 標 ■

施 策	指 標 名	策定時	見直し時 (R3)	目 標 (R10)
3-2-1	ホームヘルプなど訪問系サービスの利用者数 (月平均)	1,274 人 (H28 年度)	<u>1,463 人</u>	1,860 人
3-2-1	グループホームの利用者数 (月平均)	337 人 (H28 年度)	<u>445 人</u>	700 人
<u>3-2-1</u>	<u>ショートステイ利用者数</u>	<u>—</u>	<u>388 人</u>	<u>462 人</u>
3-2-2	移動支援事業の利用者数 (月平均)	1,059 人 (H28 年度)	<u>927 人</u>	1,230 人
3-2-2	「就労継続支援 (非雇用型) 事業所」における工賃の平均月額	12,517 円 (H28 年度)	<u>15,259 円</u>	18,000 円

▶▶▶ 関連する主な個別計画

- 障がい者計画
- 障がい福祉計画
- 地域福祉計画

▶▶▶ 関連する主な条例

- 吹田市民のくらしと健康を支える福祉基本条例

第4次総合計画見直しに係る基本計画素案(第2回作業部会検討分) 事務局コメント (本文への事務局追加案は青字点線)

事務局コメント		担当室課コメント・対応	
骨子案	現状と課題・トピックス		
	施策・指標		
中核市移行の視点	現状と課題・トピックス		
	施策・指標		
コロナ禍による影響	現状と課題・トピックス	・「感染防止対策が必要な環境下においても～」の部分について、令和元年度以降のトピックスに記載しました。	
	施策・指標		
策定後の主な動向 (見直しの基本方針)	現状と課題・トピックス		
	施策・指標		
個別計画・調査	現状と課題・トピックス		
	施策・指標		
その他	現状と課題・トピックス	・本市の状況を追加したことにより、文章表現を調整していますので確認してください。	
	施策・指標	・3-2-1 の指標「ショートステイ利用者数」について、総合戦略のR3実績を元に数字を追記していますので、確認してください。	
ローカル SDGs 指標	施策・指標		
関連する SDGs ゴール (現在の総計評価に掲げるゴールと変更があった場合)		過不足がないか確認してください。特に「11 住み続けられるまちづくりを」「16 平和と公正をすべての人に」は該当しないかの確認をお願いします。	

政策 3 地域での暮らしを支えるまちづくり

目標

(めざすまちの姿)

地域福祉活動と総合的な生活保障により、
だれもが地域で互いに支え合いながら、安心して暮らせるまち

現状と課題

少子高齢化や核家族化の進展、地域での人と人のつながりの希薄化などにより、本市においても、介護の悩みを抱える人や、子育てに不安を抱える人、経済的に困窮している人など、支援を必要とする人が増えています。また、高齢者福祉、障がい者福祉、子育て支援などのさまざまな分野の課題が絡み合って複雑化し、分野を超えた総合的な支援を必要とする人もいます。地域住民や地域の多様な主体、関係機関、行政が課題を「我が事」として共有し、地域全体で支え合う地域共生社会の仕組みづくりが必要です。

行政の取組だけでは、住民の暮らしを全面的に支えることはできず、住民同士の助け合い活動が重要です。本市では、さまざまな地域福祉活動が活発に行われています。一方で、少子高齢化の進展や地域コミュニティの希薄化などにより、活動を担う人材の育成などが課題となっています。地域住民の暮らしに寄り添って支える地区福祉委員会活動や民生委員・児童委員活動などの地域福祉活動への支援を強化しながら、住民の地域福祉活動への参加を促進する必要があります。

また、生活困窮者などへの就労支援、保健・医療、福祉などの総合的な生活保障の充実を図る必要があります。住民が抱えるさまざまな暮らしの課題の解決に向け、関係機関との連携を強化しながら、支援体制の充実を図るとともに、相談窓口の周知などを進める必要があります。

市民意識指標
(主に関連するもの)

	H26	R4	R10 目標
住み慣れた地域での生活を支える地域福祉に満足している市民の割合	12.7%	18.4%	24%

目標への評価
(R4)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えばそう思わない
市民	47.8%	40.7%	10.7%
市職員	56%	40%	5%

令和元年度（2019年度）以降のトピックス

- ・中核市移行に伴う権限移譲により、民生委員の定数を市の条例で定めることとなり、地域の実情に合わせた配置をしています。
- ・コロナ禍においても、ふれあい外出配食など、各団体が工夫しながら地域福祉活動を実施しました。
- ・コロナ禍により生活困窮者が増加し、問題が複雑・多様化しており、関係機関との連携強化を進めています。



施 策

3-3-1 地域福祉の推進 福祉部

地域共生社会の実現に向け、住民主体の地域福祉活動を促進するため、住民同士の交流を促進する取組を行うとともに、地域福祉を担う団体に対し、人材育成や活動の場の確保などに向けた支援を進めます。また、地域住民や関係機関と連携し、災害発生時に災害時要援護者への支援が適切に行える体制づくりなどを進めます。

3-3-2 生活困窮者への支援と社会保障制度の適正な運営 福祉部・市民部・健康医療部

生活困窮者が必要な支援を受けられるよう、包括的な相談・支援体制の充実を図るとともに、制度の周知を進めます。また、生活保護、国民健康保険、国民年金など社会保障制度の適正な運営に努めます。

■ 施策指標 ■

施策	指標名	策定時	見直し時 (R3)	目標 (R10)
3-3-1	小地域ネットワーク活動の延べ参加者数（地区福祉委員含む）	8.3万人 (H29年度)	2.6万人	8.8万人
3-3-1	<u>民生委員・児童委員の人数</u>	＝	502人	551人
3-3-1	<u>災害時要援護者支援に関する協定締結地区数</u>	＝	●●地区	34地区
3-3-2	生活困窮者に対する就労支援専門員が関わる支援により就労につながった割合	●●% (H29年度・87人)	41.30% (69人)	50%

▶▶▶ 関連する主な個別計画

- 地域福祉計画 ○成年後見制度利用促進計画 ○高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 ○障がい者計画
- 国民健康保険データヘルス計画

▶▶▶ 関連する主な条例

- 吹田市民のくらしと健康を支える福祉基本条例

第4次総合計画見直しに係る基本計画素案(第2回作業部会検討分) 事務局コメント (本文への事務局追加案は青字下線)

事務局コメント		担当室課コメント・対応
骨子案	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
中核市移行の視点	現状と課題・トピックス	・3-3-1 に民生委員・児童委員の人数が指標に入りましたが、民生委員の定数の決定も中核市移行により市の権限で行えるようになったことに触れてはどうでしょうか(ひとまず「R1 以降のトピックス」に入れています)
	施策・指標	
コロナ禍による影響	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
策定後の主な動向 (見直しの基本方針)	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
個別計画・調査	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
その他	現状と課題・トピックス	・3-3-1 の施策に「地域共生社会」のフレーズが出てきますが、前段の「現状と課題」で触れた方が良いかと思えます。文章を足してみましたがいかがでしょうか。
	施策・指標	・3-3-2 の指標を割合に変更するという事で、策定委員会から「支援しやすい人を優先するのではないか」との懸念が指摘されましたが、それに対してのご意見をお聞かせください。 ・3-3-2 の新しい指標の策定時の実績が分かれば教えてください。(基本的に、新しい指標は策定時実績を入れていませんが、人数→割合への変更のため、分かれば入れておきたいと思えます。)
ローカル SDGs 指標	施策・指標	
関連する SDGs ゴール (現在の総計評価に掲げるゴールと変更があった場合)		過不足がないか確認してください。「10 人や国の不平等をなくそう」も入れてもいいかもしれません。(社会保障の面が 10 のゴールに該当します)

政策 4 健康・医療のまちづくり

目標

(めざすまちの姿)

市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組み、
生活の質を高めながら健康寿命を伸ばし、
すこやかで安心して暮らせるまち

現状と課題

本市の平均寿命、健康寿命は国や大阪府を上回り、これからは健康寿命の更なる延伸及び生活の質の向上を目指していくことが重要です。

本市では「健康づくり都市宣言」のもと、市民の健康増進や病気の予防・早期発見につながるさまざまな取組を進めてきました。また、「北大阪健康医療都市（健都）」における健康・医療に関する資源の集積を生かした健康づくりの取組や医療イノベーションの創出に向けた環境づくりをはじめとし、循環器病予防を始めとした健康・医療のまちづくりに取り組んでいます。

心身ともに健康で豊かに暮らしていくためには、一人ひとりが日ごろから健康づくりに取り組むとともに、社会全体で、意識せずとも自然と「健康」につながる環境の整備を進める必要があります。また、高齢化による医療ニーズの増加・多様化に対応しながら、市民が安心して医療を受けられる地域医療体制の充実を図る必要があります。

令和2年度（2020年度）に設置した市保健所は、市民の命と健康を守るため、設置当初から新型コロナウイルス感染症対策に取り組み、感染に対する不安、行動変容に伴うストレスや雇用不安といった心の健康問題にも対応してきました。今後新たに発生する感染症等に備え、その権限や専門性を生かし、きめ細かな地域保健サービスを提供するとともに、健康危機管理体制の強化と公衆衛生の一層の向上に努める必要があります。

市民意識指標
(主に関連するもの)

	H26	R4	R10 目標
保健事業や健康づくりに満足している市民の割合	14.8%	20.0%	18%

目標への評価
(R4)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えばそう思わない
市民	55.3%	35.2%	8.8%
市職員	76%	22%	2%

令和元年度（2019年度）以降のトピックス

- ・令和2年度（2020年度）に市保健所を設置し、公衆衛生の向上に向けた各種施策を実施しています。
- ・新型コロナウイルス感染症への対応として、市独自の検査体制の強化や医療体制の充実・推進など、市民に近い基礎自治体として感染拡大防止対策を実施しています。



施 策

3-4-1 健康づくりの推進 健康医療部

市民の主体的な健康づくりを支援するため、ライフステージ別の課題に応じた取組を進め、健康意識を高めるとともに、検診などの保健サービスを充実し、生活習慣病等の予防や重症化予防を図ります。また、全ての市民が意識せずとも「健康」につながる仕組みづくりを進めます。

3-4-2 公衆衛生の向上 健康医療部

保健・医療・福祉の関係機関の連携を強化し、専門的なサービスを展開することで、感染症や食中毒といった健康危機への対応、メンタルヘルス、難病患者の支援、生活衛生関連事業者への衛生指導等を通じて、市民の健康の保持・増進を図ります。

3-4-3 地域医療体制の充実 健康医療部

市民が必要なときに適切な医療を受けられるよう、かかりつけ医等の定着促進や適切な医療のかかり方に関する啓発、在宅医療推進のための環境づくり、救急医療体制の確保など、地域医療体制の充実を図ります。また、大阪府医療計画等に基づき、将来の医療需要に見合った医療提供体制の構築に向けた病院機能の分化・連携などを推進するとともに、病院や診療所、薬局などの監視、指導等を行い、地域の医療安全の推進を図ります。

3-4-4 健都を生かした健康づくりと医療イノベーションの促進 健康医療部

さまざまな医療関連資源が集積する健都の特長を生かし、健康・医療情報の利活用によるデータヘルスの推進、健康的なライフスタイルを無理なく生活の中に取り込めるようにするなど、健都ならではの健康づくりの取組を進めます。また、医療イノベーションの創出に向け、国立循環器病研究センター、医薬基盤・健康・栄養研究所と医療・健康関連産業などとの連携を促進するための環境を整えます。

■ 施 策 指 標 ■

施策	指標名	策定時	見直し時 (R3)	目標 (R10)
3-4-1	特定健康診査（吹田市国保健康診査）の受診率	46.0% (H28 年度)	41.4%	60%
3-4-1	生活習慣改善に取り組む市民の割合	男性：53.4% 女性：59.1% (H28 年度)	男性：61.2% 女性：65.3%	男性：58% 女性：65%
3-4-2	結核接触者健康診断の受診率	＝	●●%	98%
3-4-2	食品関連事業者のうち、重点監視施設の監視実施率	＝	●●%	100%
3-4-3	地域医療推進に関する講演会などの参加者数（累計）	210 人 (H29 年度)	317 人	1,600 人
3-4-3	かかりつけ医等を持つ人の割合	＝	●●%	60%
3-4-4	健康増進広場など健都の施設を活用した運動プログラムや健康イベントなどの年間実施件数	0 件 (H30 年度 事業開始)	1,130 件	1,035 件

▶▶▶ 関連する主な個別計画

○健康すいた21 ○新型インフルエンザ等対策行動計画 ○自殺対策計画 ○食品衛生監視指導計画

▶▶▶ 関連する主な条例

○吹田市民のくらしと健康を支える福祉基本条例

第4次総合計画見直しに係る基本計画素案(第2回作業部会検討分) 事務局コメント (本文への事務局追加案は青字点線)

事務局コメント		担当室課コメント・対応
骨子案	現状と課題・トピックス	【第3作業部会】3-4-1 の関連で現状と課題又は施策でスモークフリーシティには触れなくて良いでしょうか。
	施策・指標	【第3作業部会】3-4-4 の施策で、健都の関連で「産学官民連携」のキーワードに触れなくて良いでしょうか。
中核市移行の視点	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
コロナ禍による影響	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
策定後の主な動向 (見直しの基本方針)	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
個別計画・調査	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	【第3作業部会】3-4-1 の指標「生活習慣改善に取り組む市民の割合」は健康すいたに合わせて「生活習慣を改善するつもりはない人の割合」に変更は不要でしょうか。
その他	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	【第3・4作業部会】施策の順番を健康づくり→公衆衛生→地域医療→健都にしているかと思いますが、いかがでしょうか。
		【第3作業部会】3-4-4 の指標の目標値を見直しましたが、R3 実績で既に目標値を超えています。目標値を常に達成できるようにする、との考えで目標値は R3 実績より下でよいでしょうか。
【第4作業部会】 ・3-4-2 に新たに施策を追加したことで、従来、生活衛生事業等を位置付けていた 5-1 の政策・施策に削除すべき文言がないかを確認してください。 ・新しく設定する指標の R3 実績を入れてください。 ・3-4-3 の施策の「上手な医療のかかり方」について「適切な医療のかかり方」にしても正しいですか。		
ローカル SDGs 指標	施策・指標	【第4作業部会】人口 10 万人あたりの医師・薬剤師の数が指標としてあります。(ただ、府内でも高い水準であり指標としてはあまり適切ではないかもしれません。)
関連する SDGs ゴール (現在の総計評価に掲げるゴールと変更があった場合)		【第3・4作業部会】過不足はないか確認してください。

政策 1 子育てしやすいまちづくり

目標

(めざすまちの姿)

安心して子供を産み育てられ、
すべての子供がすこやかに育つことができるまち

現状と課題

近年、本市では就学前児童数が増加傾向にあるとともに、共働き家庭の増加などにより、保育所などの利用を希望する世帯の割合は増加傾向が続いていますが、就学前児童数は減少傾向に転じています。また、核家族化や地域のつながりの希薄化が進み、子育てに負担や不安を感じる保護者が増えており、子育てに関する相談件数が年々増加しています。さらに、妊産婦や子供及びその家庭が抱える問題の多様化とともに、児童虐待や子供の貧困への対策が課題となっており、幅広いニーズに対応するための体制づくりが求められています。

本市では、これまで、待機児童の解消に向けた取組を進めるとともに、地域の子育て支援の拠点施設として、のびのび子育てプラザを設置し、地域子育て支援センターと連携して、子育て相談や保護者同士の交流の場の提供、一時預かりの実施などに取り組んできました。また、「吹田版ネウボラ」として、妊娠・出産から子育て期までの切れ目ない包括的な相談支援体制を構築し、子育ての負担や不安の解消に努めてきました。さらに、療育の拠点施設として、こども発達支援センターを設置し、一人ひとりの特性に応じた早期療育を進めてきました。

就学前の教育・保育の質の向上を図るとともに、働きながら子育てができる環境の整備や、地域における子育て支援のさらなる充実を図る必要があります。また、療育や医療的ケアが必要な子供への対応や、ひとり親家庭やヤングケアラーがいる家庭への支援、虐待の未然防止・早期発見に努めるなど、子供やその家庭の状況に応じたきめ細かな支援が必要です。

市民意識指標
(主に関連するもの)

	H26	R4	R10 目標
安心して子育てができる環境にあると思う世帯の割合	62.3%	56.0%	75%

目標への評価
(R4)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えばそう思わない
市民	62.8%	27.2%	9.3%
市職員	78%	18%	4%

令和元年度（2019年度）以降のトピックス

- ・中核市移行に伴い、相談事業や就労支援事業などのひとり親家庭への支援事業の再構築を行い、施策の充実を図りました。
- ・大阪府から権限移譲を受けた母子父子寡婦福祉資金貸付事業については、従前から行っている「相談」から、新たに移譲された「貸付」までを本市で一体的に行うことができるようになり、市民に寄り添ったきめ細かな支援につながっています。
- ・中核市移行に伴い、小児慢性特定疾病児の健全育成の観点から、医療費の一部助成、自立や成長支援、在宅療養等についての相談等を実施しました。
- ・令和2年（2020年）7月から保育士・保育所支援センターを設置し、保育所等の従事者を対象とした無料職業紹介事業を実施しています。
- ・令和2年度（2020年度）から、子ども医療費助成の対象年齢を18歳到達年度末までに拡充しました。令和3年度（2021年度）からは、精神病床への入院を助成対象に追加しました。
- ・令和3年度（2021年度）から、養育費に関する公正証書等の作成に掛かった費用の一部を補助する事業を開始しました。



施 策

4-1-1 就学前の教育・保育の充実 児童部

多様な保育ニーズに対応しながら、必要に応じて、保育所や認定こども園などの整備を進めるとともに、子供一人ひとりのすこやかな育ちを保障する質の高い教育・保育の充実を図ります。

4-1-2 地域の子育て支援の充実 児童部・健康医療部

妊娠・出産・子育て期にわたる保護者の不安や負担を軽減するため、正しい知識を提供する機会や子育て相談の充実を図ります。また、育児教室や子育て相談、一時預かりなど、地域での子育て支援を切れ目なく行うとともに、子育てに関する情報を積極的に発信し、保護者が必要とする子育て支援サービスにつなげます。

4-1-3 配慮が必要な子供・家庭への支援 児童部・福祉部・健康医療部

発達に支援を必要とする子供や医療的ケアを必要とする子供、ひとり親家庭、生活困窮世帯の子供、ヤングケアラーがいる家庭など、配慮が必要な子供や家庭に対し、関係機関や地域と連携しながら、個々の状況に応じた支援の充実を図ります。また、児童虐待の未然防止・早期発見のため、相談・啓発などに取り組みます。

■ 施 策 指 標 ■

施 策	指 標 名	策定時	見直し時 (R3)	目 標 (R10)
4-1-1	保育所などの待機児童数	55人 (H30年度)	<u>0人</u>	0人
<u>4-1-2</u>	<u>「子育て支援コンシェルジュ」の年間利用者数</u>	<u>3,510人</u> (H29年度)	<u>5,160人</u>	<u>5,000人</u>
<u>4-1-2</u>	<u>この地域で子育てをしたいと思う親の割合（健やか親子21）</u>	=	<u>●●%</u>	<u>97%</u>
4-1-3	生後4か月までの乳児がいる家庭に対し保健師、民生委員・児童委員などが訪問し面談を行った割合	72.2% (H29年度)	<u>51.8%</u>	80%
4-1-3	「ひとり親家庭相談」における就業相談の利用により就業につながったひとり親の人数	20人 (H29年度)	<u>24人</u>	50人

▶▶▶ 関連する主な個別計画

○子ども・子育て支援事業計画 ○子供の夢・未来応援施策基本方針 ○障がい児福祉計画

▶▶▶ 関連する主な条例

—

第4次総合計画見直しに係る基本計画素案(第2回作業部会検討分) 事務局コメント (本文への事務局追加案は青字点線)

事務局コメント		担当室課コメント・対応
骨子案	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
中核市移行の視点	現状と課題・トピックス	・中間振り返りシートを参照し、令和元年度以降のトピックスに追加しました。
	施策・指標	
コロナ禍による影響	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
策定後の主な動向 (見直しの基本方針)	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
個別計画・調査	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
その他	現状と課題・トピックス	・4-1-2 の施策で「負担や不安」を「不安や負担」と入れ替えた理由をご教示ください。
	施策・指標	・「吹田版ネウボラ」を 4-1 に記載したことにより、施策の 4-1-2、4-1-3 の担当部に「健康医療部」を追加しています。確認をお願いします。 ・施策指標 4-1-2 の R3 実績を追記してください。 ・4-1-2 指標の「子育て支援コンシェルジュ」について、事業は終了していないため削除とはせず、目標値の見直しの検討をお願いできればと思います。
ローカル SDGs 指標	施策・指標	
関連する SDGs ゴール (現在の総計評価に掲げるゴールと変更があった場合)		過不足がないか確認してください。

政策 2

学校教育の充実したまちづくり

目標

(めざすまちの姿)

子供たちが新しい時代を生き抜くために必要となる学力、人間性、体力を育むことができるまち

現状と課題

本市では、就学前から義務教育までを一体的に捉え、主体的・対話的で深い学びを大切にしながら、さまざまな教育活動を通じた小中一貫教育を進めてきました。子供たちを取り巻く環境が急激に変化している中、学習した知識や技能を人生や社会に生かす力や、さまざまな課題に対応できる思考力・判断力・表現力等、Society5.0 において持続可能な社会の創り手となるための資質・能力を育む必要があります。

また、いじめや不登校、子供の体力の低下への取組は喫緊の課題であり、子供たちのさまざまな悩みに対応するとともに、食育や体力づくりなどの取組を進め、豊かな心やすこやかな体を育むことが重要です。さらに、教育費の負担軽減など、家庭に対する経済的支援を行う必要があります。

学校施設は、昭和 40 年代から昭和 50 年代に建設されたものが多く、令和 14 年（2032 年）には築 50 年を超える学校施設が約 8 割を占めることから、子供たちが安全で快適な環境で学習できるよう、引き続き、老朽化への対応を進める必要があります。教職員を取り巻く環境においても、学校に求められる役割が増大する中において、質の高い教育を提供するためには、教職員の長時間勤務の解消が不可欠となっています。

市民意識指標
(主に関連するもの)

	H26	R4	R10 目標
安心して子育てができる環境にあると思う世帯の割合	62.3%	56.0%	75%
学校教育に満足している市民の割合	20.9%	25.6%	50%

目標への評価
(R4)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えばそう思わない
市民	52.4%	35.4%	11.4%
市職員	64%	32%	4%

令和元年度（2019 年度）以降のトピックス

- ・中核市移行により、府費負担教職員の研修権が移譲され、市の実態に応じた研修体制を構築しています。
- ・コロナ禍により、GIGA スクール構想に基づく DX 推進の取組が加速しています。



施策

4-2-1 学校教育の充実

学校教育部

新しい時代に必要とされる資質や能力を育む小中一貫教育を進め、ICT教育、英語教育、食育・体力づくり、読書活動など教育内容の充実を図ります。また、いじめや不登校などに悩む子供一人ひとりへの対応や特性に応じた支援体制を整えるとともに、教職員が本来業務に集中できる働きやすい環境を整備します。

4-2-2 学校教育環境の整備

行政経営部・学校教育部

学校施設の適切な管理を行うとともに、インクルーシブ教育の推進に向けて、安全かつ快適で、一人ひとりの教育的ニーズに対応できるよう教育環境を整備します。

■ 施策指標 ■

施策	指標名	策定時	見直し時 (R3)	目標 (R10)
4-2-1	授業で学習したことが将来社会に出た時に役に立つと思う小・中学生の割合	小：87.1% 中：78.4% (H29年度)	<u>小：89.8%</u> <u>中：86.5%</u>	小：95% 中：86%
4-2-1	学校へ行くのが楽しいと感じる小・中学生の割合	小：86.6% 中：80.6% (H29年度)	<u>小：82.1%</u> <u>中：82.5%</u>	小：92% 中：86%
4-2-2	小・中学校のトイレ <u>改修率</u>	41.5% (H29年度)	<u>100%</u>	100% (R2年度まで)
4-2-2	<u>小・中学校のバリアフリー改修の実施率</u>	＝	<u>●●%</u>	<u>100%</u>

▶▶▶ 関連する主な個別計画

○教育振興基本計画 吹田市教育ビジョン

▶▶▶ 関連する主な条例

—

第4次総合計画見直しに係る基本計画素案(第2回作業部会検討分) 事務局コメント (本文への事務局追加案は青字点線)

事務局コメント		担当室課コメント・対応
骨子案	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	<ul style="list-style-type: none"> ・4-2-1 に、「すいた GRE・EN スクールプロジェクト等の取組」として、「…早期発見、早期対応、早期解決に向けた取組を進めるとともに」との追加をすると中間振り返りシートにありましたが、今回の修正案に変更で良いですか。
中核市移行の視点	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
コロナ禍による影響	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
策定後の主な動向 (見直しの基本方針)	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
個別計画・調査	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
その他	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	<ul style="list-style-type: none"> ・4-2-1 の施策で、「…就学援助など、安心して学ぶことができる取組を進めます。」は削除して良いですか。 ・4-2-1 の施策指標の目標値に下線がありましたが、修正はありますか？ ・4-2-2 の施策指標の「トイレ改修の実施率」が「トイレ改修率」に修正されていましたが、事業が完了したのではないですか。「小・中学校の校舎及び体育館の大規模改修の実施率」は R3 で未達成ですが、こちらの指標を見直す理由も教えてください。 ・4-2-2 の施策指標としてソフトの取組の指標は難しいですか。 ・新しい指標に R3 実績を入れてください。
ローカル SDGs 指標	施策・指標	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(生徒数/コンピュータ数)」「学校におけるインターネット接続率(光ファイバ回線)」「小中学校学生1人当たりのトイレ数(小中学校のトイレ数/小中学校児童生徒数)」が市区町村レベルの指標として挙がっています。
関連する SDGs ゴール (現在の総計評価に掲げるゴールと変更があった場合)		<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、関連する SDGs ゴールを見直したいとの意見があったと聞いています。過不足がないか検討をお願いします。

政策 3

青少年がすこやかに育つまちづくり

目標

(めざすまちの姿)

家庭、地域、学校の連携・協働のもと、
青少年のすこやかな成長を支えるまち

現状と
課題

近年、核家族化の進展、地域社会とのつながりや人間関係の希薄化などによる、家庭や地域における教育力の低下が懸念されています。そうした中、いじめや不登校、ひきこもりなどが社会問題となっているとともに、青少年を巻き込む犯罪などへの不安が高まっています。また、留守家庭児童育成室では入室を希望する児童が増加する一方で、職員体制の確保が困難となっており、放課後の児童の居場所の確保が課題となっています。

青少年のすこやかな成長を支えるためには、家庭、地域、学校がより一層連携を強化しながら、取組の充実を図ることが重要であり、青少年が自然体験や交流活動など地域でのさまざまな活動や体験を通じて、社会性や自立性を育むことができる環境づくりや、非行防止に向けた啓発を行うとともに、ひきこもりなどの課題を抱える青少年に対する支援を行う必要があります。また、放課後の子供たちが安心して過ごし、学び、遊ぶことのできる居場所の充実を図る必要があります。

市民意識指標
(主に関連するもの)

	H26	R4	R10 目標
安心して子育てができる環境にあると思う世帯の割合	62.3%	56.0%	75%

目標への
評価
(R4)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えばそう思わない
市民	51%	38%	10.1%
市職員	61%	35%	4%

令和元年度（2019年度）以降のトピックス

・コロナ禍の影響により、青少年の相談が複雑化・複合化しています。



施 策

4-3-1 青少年の健全育成 地域教育部

青少年の健全育成を図るため、地域での見守りや指導を行うとともに、青少年の仲間づくりや主体的な活動を支援するため、さまざまな体験・活動の機会を提供します。また、ひきこもりなどさまざまな課題を抱える青少年に対する相談体制の強化を図ります。

4-3-2 放課後の居場所の充実 地域教育部

留守家庭児童育成室への入室を希望する児童の確実な受け入れを行い、「太陽の広場」などとの連携強化を図りながら、地域の実情に応じて放課後の子供の安心安全な居場所を確保し、さまざまな体験・活動の機会を提供します。

■ 施 策 指 標 ■

施 策	指 標 名	策 定 時	見 直 し 時 (R3)	目 標 (R10)
4-3-1	青少年指導者講習会の年間受講者数	268 人 (H29 年度)	<u>61 人</u>	350 人
4-3-1	青少年施設主催イベント・講座などの年間参加者数	13.6 万人 (H29 年度)	<u>6.1 万人</u>	14 万人
<u>4-3-1</u>	<u>青少年相談から社会参画につながったケース数</u>	＝	<u>●●件</u>	<u>●●件</u>
4-3-2	留守家庭児童育成室の <u>待機</u> 児童数	＝	<u>●●人</u>	<u>0 人</u>
4-3-2	太陽の広場などの年間参加者数	20.7 万人 (H29 年度)	<u>3.2 万人</u>	22.7 万人

▶▶▶ 関連する主な個別計画

○教育振興基本計画 吹田市教育ビジョン ○子ども・子育て支援事業計画

▶▶▶ 関連する主な条例

—

第4次総合計画見直しに係る基本計画素案(第2回作業部会検討分) 事務局コメント (本文への事務局追加案は青字点線)

事務局コメント		担当室課コメント・対応
骨子案	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
中核市移行の視点	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
コロナ禍による影響	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
策定後の主な動向 (見直しの基本方針)	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
個別計画・調査	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
その他	現状と課題・トピックス	<p>・現状と課題について、「青少年に対する(非行防止に向けた)指導」は今の社会の実態にそぐわないため削除とされていますが、指導に関する施策等は特にないという認識で問題ないでしょうか。(どのようなケースを想定した文言だったのかお教えてください)</p> <p>・「現状」として、「地域では、青少年の見守り活動などの取組が活発に行われています」と現行計画にはありますが、見直しで削除する理由を教えてください。</p>
	施策・指標	<p>・「青少年相談から社会参画につながったケース数」について、教育ビジョンに示されている42件は令和6年度の目標値であるため、総計期間の令和10年度の目標設定の検討をお願いします。また、支援に関する指標は、割合とするか実数とするかの議論がありますが、実数とされた理由を教えてください。</p>
ローカルSDGs指標	施策・指標	
関連するSDGsゴール (現在の総計評価に掲げるゴールと変更があった場合)		

政策 4

生涯にわたり学べるまちづくり

目標

(めざすまちの姿)

いつでも、どこでも、だれでも、
さまざまな生涯学習活動に取り組むことができるまち

現状と課題

本市には、図書館や地区公民館など、生涯学習活動の場となる施設が多数配置されています。市内の大学などにおいても、身近に受講できる「市民大学講座」などの学習機会が提供されています。

少子高齢化や地域コミュニティの希薄化が進む中、子供から大人までが心豊かな生活を送ることができるよう、さまざまな生涯学習活動や多世代交流を通じて、人とのつながりを育むことが重要です。また、市民の学習ニーズの高度化・多様化に対応する必要があります。

そのような中、活動の場となる各施設の連携を強化しながら、あらゆる機会や場所において、生涯にわたって学習できる体制を整える必要があります。また、超高齢社会、防災・防犯、環境問題など現代的課題に関する学習機会の充実を図るとともに、学習成果を地域に還元できるよう、発表や活用できる場を提供する必要があります。

市民意識指標
(主に関連するもの)

	H26	R4	R10 目標
安心して子育てができる環境にあると思う世帯の割合	62.3%	56.0%	75%
一年間で何らかの学習活動を行った市民の割合	—	39.3%	50%

目標への評価
(R4)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えばそう思わない
市民	44.9%	43.1%	11.4%
市職員	65%	31%	4%

令和元年度（2019年度）以降のトピックス

- ・コロナ禍において、講座の定員制限等も行ったことから、来場しなくても受講できるよう、オンライン講座を実施しました。地区公民館においてもオンライン講座に必要な機器を整備しています。
- ・図書館の非来館型サービスとして、電子図書サービスを開始しています。

施 策

4-4-1 生涯学習活動の支援

地域教育部

あらゆる世代の生涯学習活動を支援するため、大学などの関係機関との連携や地域の人材の活用を通じて、さまざまな講座を実施するなど、学習機会の充実を図るとともに、市のホームページや「市報すいた」などにより、学習に関する情報提供を行います。また、学習によって習得した成果について、発表や活用ができる場を提供します。

4-4-2 生涯学習環境の整備

地域教育部

だれもが身近な場所で気軽に学習できるよう、図書館や地区公民館などの学習施設のサービスの充実を図るとともに、施設間の相互の連携を強化します。

■ 施 策 指 標 ■

施 策	指 標 名	策 定 時	見直し時 (R3)	目 標 (R10)
4-4-1	市民大学講座の年間受講者数	2,538 人 (H29 年度)	<u>643 人</u>	<u>2,500 人</u>
4-4-2	地区公民館の年間利用者数 (<u>オンラインによる講座受講者を含む</u>)	43.4 万人 (H29 年度)	<u>15.9 万人</u>	46.6 万人
4-4-2	図書館の年間入館者数	195.8 万人 (H29 年度)	<u>156 万人</u>	222 万人 (<u>検討中</u>)

▶▶▶ 関連する主な個別計画

○教育振興基本計画 吹田市教育ビジョン ○生涯学習（楽習）推進計画

▶▶▶ 関連する主な条例

—

第4次総合計画見直しに係る基本計画素案(第2回作業部会検討分) 事務局コメント (本文への事務局追加案は青字点線)

事務局コメント		担当室課コメント・対応
骨子案	現状と課題・トピックス	・図書館の非来館型サービスの提供など、コロナ禍による変化により、今後の図書館のあり方など大きな視点で書けることがあれば追加をお願いします。
	施策・指標	・同上です。
中核市移行の視点	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
コロナ禍による影響	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
策定後の主な動向 (見直しの基本方針)	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
個別計画・調査	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	・関連する主な個別計画に以下の図書館関係の計画は不要ですか。 <ul style="list-style-type: none"> ・第2次吹田市子ども読書活動推進計画 ・吹田市立図書館基本構想 ・吹田市立図書館サービス基本計画 ・吹田市視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画(読書バリアフリー計画)
その他	現状と課題・トピックス	・「リカレント教育」については、第1回作業部会の資料9「市を取り巻く社会情勢の主な変化」においても「社会人の学び」として挙がっています。第2回作業部会でも話題に挙がっていましたが、追加はしなくてよいでしょうか。
	施策・指標	
ローカル SDGs 指標	施策・指標	
関連する SDGs ゴール (現在の総計評価に掲げるゴールと変更があった場合)		

政策 1 環境先進都市のまちづくり

目標

(めざすまちの姿)

持続可能な社会の実現に向けた先進的な取組が進められ、
良好な生活環境が整ったまち

現状と課題

地球温暖化の進行による気候変動や生物多様性の喪失をはじめとするさまざまな環境問題に直面する中、持続可能な社会の実現に向けて、国際的な取組が進められています。本市では、これまで地球温暖化対策やごみの減量、公害対策による生活環境の確保に向けた取組を進めてきました。

しかし、世界規模での異常気象の頻発や気温の急激な上昇、二酸化炭素排出量の増加を受け、本市においても持続可能な社会の実現のため、エネルギー消費量のさらなる削減が必要であり、適切なエネルギー利用を促進するなど、令和32年(2050年)までに市域の年間温室効果ガス排出量を実質ゼロとする目標に向け、低炭素から脱炭素社会への転換に向けた取組の強化が必要です。

さらに、地球温暖化に伴う熱中症による健康被害への緩和策を含む新たな対応や、人口増加に伴い増加が懸念されるごみの減量及び資源循環の観点からリサイクル率を高める取組、地震や風水害等で発生する災害廃棄物を円滑に処理する対応も急務となっています。

また、大気や水質、騒音などは環境目標をほぼ達成し、市民意識調査によると快適な生活環境に関する満足度は上昇しています。(令和4年度調査 10月末に結果が出るため、リバイス予定)本市では、駅周辺を環境美化推進重点地区などに指定し、市民や事業者などとポイ捨て、路上喫煙禁止などの取組を進めるとともに、地域の団体と協力しながら、啓発や美化活動を行っています。そのような身近な活動を通じ、環境に対する意識を高める必要があります。

本市の環境政策の基本理念である「もったいない精神」に立ち返り、エネルギーや資源、自然共生を大切にしたいライフスタイルや事業スタイルへの転換を促進する必要があります。

市民意識指標
(主に関連するもの)

	H26	R4	R10 目標
快適な生活環境の確保に満足している市民の割合	26.6%	34.4%	40%
ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組に満足している市民の割合	25.1%	29.9%	40%

目標への評価
(R4)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えばそう思わない
市民	44.2%	42.0%	13.1%
市職員	61%	31%	8%

令和元年度(2019年度)以降のトピックス

・地球温暖化問題の解決に向け府県を超えた広域的な施策を展開するため、西宮市・尼崎市・豊中市・吹田市の4市(NATS)で「地球温暖化対策の自治体間連携に関する基本協定」を締結し、マイボトル用給水スポットの普及促進等の共同の取組を進めています。



施策

5-1-1 脱炭素社会への転換の推進

環境部

節エネルギー、省エネルギー、再生可能エネルギー利用の促進に率先して取り組むとともに、市民、事業者に対しても、啓発や情報発信を行います。また、開発事業を持続可能な環境まちづくりに誘導します。熱中症による健康被害を回避するため、国とも連携し、基礎調査や啓発活動、情報発信などの取組を進めます。

5-1-2 資源を大切に作る社会システムの形成

環境部

ごみの発生を抑制し、資源の再使用を促進するとともに、リサイクル率の向上を図るため、市民や事業者と連携しながら啓発活動を進めます。また、安定的に廃棄物処理を行えるよう、処理施設の計画的な維持管理・長寿命化を行います。

5-1-3 安全で健康な生活環境の保全と自然共生の推進

環境部

公害の未然防止や早期解決のため、事業者への助言や指導を行います。また、良好な生活環境の維持や環境衛生の充実、自然共生への理解の促進を図るため、啓発活動や情報発信などの取組を進めます。

■ 施策指標 ■

施策	指標名	策定時	見直し時 (R3)	目標 (R10)
5-1-1	市域の年間エネルギー消費量	18.9PJ (H27年度)	<u>17.1PJ</u>	13.1PJ
5-1-1	<u>市域の年間温室効果ガス排出量</u>	＝	<u>●●千t-CO₂</u>	<u>1,092千t-CO₂</u>
5-1-1	<u>熱中症による救急搬送者数 (5年移動平均値)</u>	＝	<u>●●人/日</u>	<u>120人/日</u>
5-1-2	市民1人当たりの1日のごみ排出量	843g (H29年度)	<u>816g</u>	760g
5-1-3	公害に関する苦情を解決した割合	68.1% (H29年度)	<u>65.4%</u>	80%
5-1-3	「環境美化推進団体」の団体数	24団体 (H29年度)	<u>28団体</u>	<u>60団体</u>

▶▶▶ 関連する主な個別計画

○環境基本計画 ○地球温暖化対策新実行計画 ○一般廃棄物処理基本計画 ○災害廃棄物処理計画

▶▶▶ 関連する主な条例

○環境基本条例 ○環境の保全等に関する条例 ○廃棄物の減量及び適正処理に関する条例
○環境美化に関する条例 ○環境まちづくり影響評価条例

第4次総合計画見直しに係る基本計画素案(第2回作業部会検討分) 事務局コメント (本文への事務局追加案は青字点線)

事務局コメント		担当室課コメント・対応
骨子案	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
中核市移行の視点	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	・5-1-3 の施策の文中「環境衛生の充実」の文言は入れたままで問題ないでしょうか。 (保健所に移行した業務との整合性確認)
コロナ禍による影響	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
策定後の主な動向 (見直しの基本方針)	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
個別計画・調査	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	・SUITA MOTTANOCITY ACTION PLAN(吹田もったのシティアクションプラン)は入れなくてよいですか。
その他	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
ローカル SDGs 指標	施策・指標	以下関連指標がありますので、参考にしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・世帯当たりの太陽光発電設置割合 ・太陽熱を利用した温水機器等がある住宅の割合 ・太陽光を利用した発電機器がある住宅の割合 ・二重以上のサッシ又は複層ガラスの窓が設置されている住宅の割合 ・廃棄物の最終処分割合 ・有害廃棄物割合 ・ごみのリサイクル率 ・グリーン購入の取り組み度の評価 ・人口1人当たりのCO2排出量 ・生物多様性地域戦略の策定有無
関連する SDGs ゴール (現在の総計評価に掲げるゴールと変更があった場合)		過不足がないか、環境基本計画との整合性を確認してください。

政策 1 みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり

目標

(めざすまちの姿)

地域の特性を生かしたまちづくりが進められ、
みどり豊かで安全・快適に暮らせるまち

現状と課題

本市では、高度経済成長期における千里ニュータウンの建設を発端に、各地での都市計画事業や民間開発の規制・誘導などにより、計画的なまちづくりが進められました。現在は、市域全体が市街化されている一方で、公園、緑地などの公共のみどりや、農地、住宅地など地域で育まれたみどりにより、みどりと調和した都市空間が形成されています。

近年は、住宅団地の建替えや企業用地の土地利用転換により、市街地の機能更新が多くみられ、開発等によりみどりの面積は減少しています。都市の中のみどりは、市民の憩いと活動の場となり、防災機能の向上や生物多様性の保全、美しい景観の形成に役立っています。みどりの保全と創出を図るとともに、都市公園の整備・管理を適切に行うことによりグリーンインフラの取組として、みどりの多様な機能を生かしたまちづくりを進める必要があります。

また、少子高齢化の進展への対応や、環境負荷の軽減、災害に強い都市の形成など、良好な住環境の維持・向上に向けた適切な開発誘導とともに、これまで供給された共同住宅をはじめとした既存の建築物が将来にわたって適切に管理され続ける必要があります。

本市は、市街地が形成された過程や、立地する建築物、そして都市活動や暮らしなどから、異なった特色や個性をもつ地域によって構成されています。地域の特性を生かしながら、みどり豊かで安心・快適な、魅力ある、地域らしさを備えた都市空間を形成していく必要があります。

市民意識指標
(主に関連するもの)

	H26	R4	R10 目標
まちなみが美しいと感じる市民の割合	58.6%	66.6%	70%
みどりが豊かでまちに愛着や誇りを感じる市民の割合	61.4%	66.9%	67%

目標への評価
(R4)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えばそう思わない
市民	66.1%	24.2%	9.0%
市職員	80%	16%	4%

令和元年度（2019年度）以降のトピックス

- ・中核市移行に伴い、地域特性に応じた良好な景観の形成等を図るため、屋外広告物条例を施行しました。



施 策

6-1-1 土地利用誘導と良好な景観形成 都市計画部

地域の特性を生かし、魅力あるまちづくりを進めるため、適切な土地利用誘導などに努めるとともに、良好な景観形成に向けた啓発などを進めます。また、住民主体のまちづくり活動に対する支援を行います。

6-1-2 良好な住環境の形成 都市計画部・土木部

良好な住環境の形成を図るため、開発・建築の指導を行うとともに、市街地の整備・再整備を行います。また、市内建築物の耐震化への支援や不適切な状態で放置された空き家の適正管理に向けた対策、[市営住宅の適切な管理・運営](#)、[マンションの適正な維持管理への支援](#)などにより、安全な住環境や住まいの確保を図ります。

6-1-3 みどりの保全と創出 土木部

[公園・緑地、道路のみどりなどの公共のみどりの適切な管理や、住宅地のみどり、農地・ため池などの私有地のみどりの保全に向けた制度・手法の充実、開発事業者に対する誘導・指導、土地所有者への支援などにより、今あるみどりを保全します。また、公園・緑地の整備や、公共施設の緑化、私有地での緑化の支援などにより、新たなみどりを創出します。公園・緑地については、今あるストックを活用し、これまでの整備・管理に加え、多様なニーズ、公園施設の管理水準の向上、行財政運営の一層の効率化などに対応するための再整備や運営管理の強化などを行います。](#)

■ 施策指標 ■

施策	指標名	策定時	見直し時 (R3)	目標 (R10)
6-1-1	まちづくりのルール（地区整備計画）の策定地区数〔面積〕	52 地区 [160.9ha] (H29 年度)	<u>74 地区</u> <u>[275.7ha]</u>	<u>85 地区</u> <u>[300ha]</u>
6-1-1	景観に関するルール（景観重点地区）の指定地区数〔面積〕	20 地区 [88.7ha] (H29 年度)	<u>32 地区</u> <u>[119.7ha]</u>	40 地区 [150ha]
6-1-2	住宅の耐震化率	81.4% (H27 年度)	<u>90.7%</u> <u>(R2 年度)</u>	95%
6-1-2	多数の者が利用する建築物等のうち耐震性が不明なもの数	=	●●	解消
<u>6-1-2</u>	倒壊の危険がある特に状態の悪い空家等（特定空家等相当）の数	=	●●	解消
6-1-3	都市公園 の面積	●●ha (H29 年度)	●●ha	328ha

▶▶▶ 関連する主な個別計画

- 都市計画マスタープラン ○立地適正化計画 ○景観まちづくり計画 ○耐震改修促進計画 ○みどりの基本計画
[○住生活基本計画](#) ○[空家等対策計画 2020](#) ○[マンション管理適正化推進計画](#) ○[市営住宅長寿命化計画](#)

▶▶▶ 関連する主な条例

- 景観まちづくり条例 ○開発事業の手続等に関する条例（好いたすまいる条例）
 ○みどりの保護及び育成に関する条例 ○都市公園条例 ○[屋外広告物条例](#)

第4次総合計画見直しに係る基本計画素案(第2回作業部会検討分) 事務局コメント (本文への事務局追加案は青字点線)

事務局コメント		担当室課コメント・対応
骨子案	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
中核市移行の視点	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
コロナ禍による影響	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
策定後の主な動向 (見直しの基本方針)	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
個別計画・調査	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
その他	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	<p>・6-1-2 の施策 市営住宅の記載について、他市の計画では都市形成の分野に書いてあるところが多いです。大綱3に記載を移さないのであれば、総計から市営住宅に関する記述が消えてしまうことへの対応が必要です。(事務局案として残しています)</p> <p>・6-1-2 の施策指標 「空き家のうち腐朽・破損のあるものの割合」は、他の指標追加ですが、今回は見直しのため、できれば現行の指標も置いたまま補足指標とすべきと考えますが、現行の指標は把握不可能などの理由はありますか。</p> <p>・6-1-3 の施策 文章が他に比べて少々長いです。改訂のため、現行の計画を活かしつつ、もう少しコンパクトにまとめていただければと思います。</p> <p>・6-1-3 の施策指標 「「みどりの協定」に基づく取組などを行う団体数」を削除する理由が「民有地のみどりの一部にすぎないため」では、5年前に不適切な指標を設定したことになり、改訂で削除するのは難しいかと思えます。</p> <p>・6-1-3 の施策指標 「人口あたり都市公園面積」が府内4位とのこと。目標値も設定しやすく、この指標への変更はでしょうか。</p>
ローカル SDGs 指標	施策・指標	
関連する SDGs ゴール (現在の総計評価に掲げるゴールと変更があった場合)		<p>・過不足がないか確認してください。</p> <p>・「6 安全な水とトイレを世界中に」「12 つくる責任、つかう責任」は主に該当するゴールとして適切ですか。</p>

政策 2 安全・快適な都市を支える基盤づくり

目標

(めざすまちの姿)

道路、水道、下水道などの適切な維持や、公共交通の利便性の向上により、だれもが安全・快適に暮らせるまち

現状と課題

本市は、道路、水道、下水道などの都市施設が計画的に整備されてきました。また、複数の鉄道路線や幹線道路が市内を通っているなど、都市基盤が一定整った状況にあります。

都市施設は建設から 50 年以上経過したものが多くなってきており、老朽化への対応が急務となっています。都市施設を適切に維持管理するとともに、災害への備えや環境負荷の軽減、バリアフリー化の推進などにも配慮しながら、更新・長寿命化を計画的に進める必要があります。

また、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う新しい生活様式の浸透等、公共交通を取巻く環境は年々厳しさを増しています。だれもが安心して移動できる手段として、今ある公共交通を維持し未来につないでいくため、利用者・事業者・行政が共に支え一体となって取り組むことが必要です。さらに、近年、自転車の利用が増えている中、自転車の通行空間の整備や利用者のマナー向上などが求められています。歩行者や自転車が安全で快適に移動できる環境を整備するとともに、交通ルールの周知徹底を進める必要があります。

市民意識指標 (主に関連するもの)

	H26	R4	R10 目標
まちなみが美しいと感じる市民の割合	58.6%	66.6%	70%
鉄道・バスなど公共交通網の便利さに満足している市民の割合	54.5%	60.2%	67%

目標への評価 (R4)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えばそう思わない
市民	70.6%	20.3%	8.4%
市職員	88%	11%	1%

令和元年度（2019年度）以降のトピックス

- ・千里山地区において、交通不便地域の解消のため、コミュニティバスの試験運行を開始しました。
- ・片山浄水所水処理施設更新工事が完成し、新施設の供用を開始しました。



施策

6-2-1 道路などの整備

土木部

安全で快適な道路環境を確保するため、歩道などのバリアフリー化を進めるとともに、計画的に道路や橋、街路樹の適切な維持管理を行います。また、都市計画道路の整備を進めます。

6-2-2 水道の整備

水道部

安全な水を供給し続けるため、水道施設を適切に維持管理するとともに、計画的な更新に取り組みます。また、地震などの災害リスクを軽減するため、施設の耐震化などを進めます。

6-2-3 下水道の整備

下水道部

快適な生活や環境を守るため、官民連携により下水道施設を効率的に維持管理するとともに、長期的な視点で施設全体の老朽化対策に取り組みます。また、地震や豪雨などの災害リスクを軽減するため、施設の耐震化や浸水被害の軽減対策などを進めます。

6-2-4 交通環境の整備

土木部

自転車を利用できる通行空間や自転車駐車場などの確保を進めるとともに、交通ルールの啓発に取り組みます。また、利用者・事業者・行政が一体となって持続可能で利便性・安全性の高い公共交通ネットワークの実現に取り組みます。

■ 施策指標 ■

施策	指標名	策定時	見直し時 (R3)	目標 (R10)
6-2-1	バリアフリー重点整備地区内の主要な生活関連経路などの整備延長	8.3km (H29年度)	<u>14.2km</u>	17km
6-2-1	都市計画道路の整備率	91% (H29年度)	<u>93%</u>	96%
6-2-2	水道管路の更新延長	7.2km (H29年度)	<u>40.6km</u>	93km
6-2-2	水道基幹管路の耐震化率	41.9% (H29年度)	<u>47.7%</u>	58%
6-2-3	下水道管路の更新及び長寿命化延長	23.9km (H29年度)	<u>38.9km</u>	65km
6-2-3	<u>雨水管等整備延長</u>	—	<u>●●m</u>	<u>●●m</u>
6-2-4	自転車通行空間の整備延長	0.9km (H29年度)	<u>4.1km</u>	<u>25km</u>

▶▶ 関連する主な個別計画

- 都市計画マスタープラン ○バリアフリー基本構想 ○バリアフリー道路特定事業計画
- 自転車利用環境整備計画 中間見直し ○公共交通維持・改善計画 ○すいすいビジョン 2020
- 水道施設マスタープラン ○下水道事業経営戦略 2019 ○公共下水道事業計画

▶▶ 関連する主な条例

- 自転車等の放置防止に関する条例 ○水道条例 ○下水道条例

第4次総合計画見直しに係る基本計画素案(第2回作業部会検討分) 事務局コメント (本文への事務局追加案は青字点線)

事務局コメント		担当室課コメント・対応	
骨子案	現状と課題・トピックス		
	施策・指標		
中核市移行の視点	現状と課題・トピックス		
	施策・指標		
コロナ禍による影響	現状と課題・トピックス		
	施策・指標		
策定後の主な動向 (見直しの基本方針)	現状と課題・トピックス		
	施策・指標		
個別計画・調査	現状と課題・トピックス		
	施策・指標		
その他	現状と課題・トピックス	・現状と課題から「公共交通の不便地域の解消」が削除となりましたが、この課題は解決されたとして別の課題に置き換わったということでしょうか。	
	施策・指標	・施策 6-2-4 「現状と課題」の部分で、自転車の取組内容の前に“利用者・事業者・行政が一体となった取組”の文章を新たに追記するのであれば、施策の文章の順もあわせてほうがいいのではないのでしょうか。	
ローカル SDGs 指標	施策・指標	以下関連指標がありますので、参考にしてください。 ・人口 10 万人当たりの交通事故死亡者数 ・下水道処理人口普及率	
関連する SDGs ゴール (現在の総計評価に掲げるゴールと変更があった場合)		過不足がないか確認してください。	

政策 1 地域経済の活性化を図るまちづくり

目標

(めざすまちの姿)

地域経済の活性化が図られ、だれもが働きやすい環境が整ったまち

現状と課題

本市は、多くの企業が立地する産業集積都市としての側面をもち、「北大阪健康医療都市（健都）」では、国際級の複合医療産業拠点の形成も進められています。また、開業率は全国的にみて高い水準となっています。

地域の産業は、市民の雇用を確保するとともに、市民の暮らしを支える基盤でもあります。近年、経済のグローバル化により競争が激化する中、感染症を含む災害への備え、また、在宅勤務や時差出勤など、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴う新しい生活様式に応じた働き方や、働く人の個々の状況に応じた働き方を選択できる働き方改革への対応も求められており、中小企業の経営基盤の強化、加えて創業や事業承継への支援が重要となっています。商店街においては、市民の暮らしを支え、コミュニティの核ともなる魅力ある商店街づくりに向けた支援が必要です。また、都市における農地は、貴重なみどりの空間や自然とのふれあいの場などとしても役立っており、都市と調和する農業の振興が求められています。

雇用・労働環境においては、働く意欲のある全ての人々が、雇用形態にとらわれず多様な働き方ができる環境づくりが求められています。本市では、「JOBナビすいた」などで、働く意欲がありながらさまざまな課題を抱える就職困難者に対する支援を行っており、求職者一人ひとりの状況に応じた就労支援のさらなる充実を図る必要があります。また、少子高齢化による労働力人口の減少などに伴い、特に介護、保育など特定の分野では恒常的な人材不足となっており、求職者とのミスマッチの解消に向けた取組が必要です。さらに、ワークライフバランスの実現に向け、だれもが働きやすい環境づくりへの支援が必要です。

市民意識指標
(主に関連するもの)

	H26	R4	R10 目標
商工業の振興に満足している市民の割合	10.8%	17.2%	15%

目標への評価
(R4)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えばそう思わない
市民	41.6%	45.6%	12.1%
市職員	54%	40%	6%

令和元年度（2019年度）以降のトピックス

- ・コロナ禍の影響を受けた事業者支援のため、中小企業等応援金、チャレンジ補助金の支給、市内対象店舗でのキャッシュレス決済に対するポイント還元事業を実施しました。
- ・近隣中核市と連携し、労働相談窓口の相互利用を開始しました。



施 策

7-1-1 産業振興と創業支援 都市魅力部

中小企業などの経営の安定や事業拡大、創業者の育成や定着に向けた支援を行います。また、魅力ある商業地づくりに向けて、空き店舗の活用への支援を行います。さらに、農地のさまざまな機能を活用しながら、都市農業の振興に取り組みます。

7-1-2 就労と働きやすい環境づくりへの支援 都市魅力部

就労相談や職業紹介などの充実を図り、求職者一人ひとりの状況に応じた就労支援を行うとともに、事業者の人材確保に向けた支援に取り組みます。また、働き方改革で求められる労働環境の改善に向けた相談や啓発などを行います。

■ 施 策 指 標 ■

施 策	指 標 名	策定時	見直し時 (R3)	目 標 (R10)
<u>7-1-1</u>	<u>市内の事業者数</u>	＝	<u>11,526 事業所</u> <u>(H28 年度)</u>	<u>11,600 事業所</u>
7-1-1	商店街及び小売市場における空き店舗率	9.3% (H29 年度)	<u>9.1%</u>	7%
<u>7-1-2</u>	<u>JOB ナビすいたの利用者数</u>	＝	<u>2,561 人</u>	<u>4,000 人</u>
7-1-2	「障がい者就職応援フェア」への参加者数	52 人 (H29 年度)	<u>27 人</u>	85 人

▶▶▶ 関連する主な個別計画

- 商工振興ビジョン ○農業振興ビジョン

▶▶▶ 関連する主な条例

- 産業振興条例 ○企業立地促進条例

第4次総合計画見直しに係る基本計画素案(第2回作業部会検討分) 事務局コメント (本文への事務局追加案は青字点線)

事務局コメント		担当室課コメント・対応
骨子案	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに追加いただく7-1-1の施策指標「市内の事業者数」の実績は、R3年度の数値は算出可能でしょうか。 ・新たに追加いただく7-1-2の施策指標「JOBナビすいたの利用者数」の実績は、R3年度の数値を使用しています。
中核市移行の視点	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
コロナ禍による影響	現状と課題・トピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・「現状と課題」の「新しい生活様式」だけでは分かりにくいかと思い、補足しています。確認をお願いします。
	施策・指標	
策定後の主な動向 (見直しの基本方針)	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
個別計画・調査	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
その他	現状と課題・トピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・「現状と課題」の「働き方改革」だけでは分かりにくいかと思い、補足しています。確認をお願いします。 ・「現状と課題」の恒常的な人材不足について、現行計画では「特に介護、保育などの特定分野」としてはいますが、削除することにより、この課題は解消できたかに見えます。引き続き課題だと思われるので、残した方がいいかと思いますが、確認をお願いします。 ・令和元年度(2019年度)以降のトピックスとして、新型コロナウイルス感染症緊急対策アクションプランの取組と、中核市移行に伴うNATS連携による労働相談窓口の相互利用を追加しています。
	施策・指標	<ul style="list-style-type: none"> ・【再確認】第2回作業部会の参考資料2でお示した、まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI・数値目標は、次期計画には引き継がれませんが、よろしいですか。
ローカルSDGs指標	施策・指標	
関連するSDGsゴール (現在の総計評価に掲げるゴールと変更があった場合)		過不足がないか確認してください。

政策 2 文化・スポーツに親しめるまちづくり

目標

(めざすまちの姿)

文化やスポーツを通じて、より豊かな市民生活を営める魅力あるまち

現状と課題

文化やスポーツは、市民の生きがいや健康づくりにつながり、市民生活を豊かにするとともに、活動を通じて地域コミュニティの形成にも貢献しています。

本市は、文化会館（メイシアター）など、文化・芸術にふれられる環境が整っているとともに、地域では、市民サークルなどによるさまざまな文化活動が行われています。地域には、文化活動や日々の暮らしの中で、形づくられてきた多くの文化資源があります。市民主体の文化活動への支援を行うとともに、文化や芸術にふれることができる機会の充実や文化財の保存活用を図る必要があります。また、多文化共生社会の実現のため、地域に暮らす国籍や民族、文化の異なる市民が、違いを認め合いながら共に暮らすための取組を多角的に行うことが重要です。

近年、健康づくりの取組が注目される中、スポーツや運動は誰もが生涯にわたって親しみ、健康寿命の延伸や地域のつながりを深めるものとして、重要な役割を担っています。また、地域では、市民主体のさまざまなスポーツ活動が活発に行われていますが、さらに運動習慣化への支援や子供から高齢者までそれぞれの体力、年齢、目的に応じたスポーツ活動が進められるよう、地域とも連携し、スポーツに親しめる機会の充実や指導者の育成を図る必要があります。

市民意識指標
(主に関連するもの)

	H26	R4	R10 目標
芸術文化を親しめる環境として満足している市民の割合	15.0%	17.1% (H30)	20%
成人の週1回以上のスポーツ実施率	36.7%	35.7% (H30)	50%

目標への評価
(R4)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えばそう思わない
市民	58.3%	33.2%	8%
市職員	74%	23%	3%

令和元年度（2019年度）以降のトピックス

- ・メイシアターの大規模改修が終了し、リニューアルオープンしました。
- ・コロナ禍においても文化・芸術活動に親しめるよう、デジタルコンテンツの充実、動画配信等、活動への支援を行いました。



施策

7-2-1 文化の振興

都市魅力部

文化会館（メイシアター）などの身近な場所で文化や芸術にふれることができる機会を提供するとともに、市民の文化活動への支援を行います。また、多文化共生の視点に立ったまちづくりや都市間の文化交流など、多文化共生推進のための様々な取組を進めます。

7-2-2 文化財の保存と活用

地域教育部

地域の文化に関する調査研究を行うとともに、文化財を適切に保存します。また、市内のさまざまな文化財の活用及び博物館の有する多様なコンテンツのデジタル化を図り、市民の文化活動などを支援します。

7-2-3 地域におけるスポーツの振興

都市魅力部

地域におけるスポーツ活動を支援するとともに、指導者の育成を行うなど、市民が気軽にスポーツに参加できる機会の充実に取り組みます。また、体育施設を適切に管理し、スポーツに親しめる環境づくりを進めます。

■ 施策指標 ■

施策	指標名	策定時	見直し時 (R3)	目標 (R10)
7-2-1	文化会館（メイシアター）の年間入館者数	48.6 万人 (H28 年度)	<u>17.5 万人</u>	50 万人
<u>7-2-1</u>	<u>出演及び作品の展示等で市の文化事業に参加した市民の延べ人数</u>	＝	<u>●●人</u>	<u>24,000 人</u>
<u>7-2-1</u>	<u>外国人等支援施策において支援した延べ人数</u>	＝	<u>●●人</u>	<u>100 人</u> <small>(令和4年度から新規事業あり。4年度の実績値に差替え予定)</small>
7-2-2	吹田市立博物館の年間入館者数	3.4 万人 (H29 年度)	<u>1.3 万人</u>	3.5 万人
<u>7-2-2</u>	<u>博物館ホームページのアクセス数</u>	＝	<u>●●件</u>	<u>3.7 万件</u>
7-2-3	スポーツイベントやスポーツに関する講座などへの年間参加者数	7.5 万人 (H29 年度)	<u>0.8 万人</u>	<u>7.5 万人</u>
7-2-3	「社会体育リーダー」など地域におけるスポーツ指導者の延べ認定者数（累計）	4,099 人 (H29 年度)	<u>4,301 人</u>	5,000 人

▶▶▶ 関連する主な個別計画

○文化振興基本計画 ○多文化共生推進指針

▶▶▶ 関連する主な条例

○文化振興基本条例 ○文化財保護条例

第4次総合計画見直しに係る基本計画素案(第2回作業部会検討分) 事務局コメント (本文への事務局追加案は青字点線)

事務局コメント		担当室課コメント・対応
骨子案	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
中核市移行の視点	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
コロナ禍による影響	現状と課題・トピックス	・令和元年度以降のトピックス欄に、中間振り返りシートを参照し追加しました。
	施策・指標	
策定後の主な動向 (見直しの基本方針)	現状と課題・トピックス	・「(2)新型コロナウイルス感染症拡大の影響(とりわけデジタル化やキャッシュレスへの対応)」に該当するため、令和元年度以降のトピックス欄に追加しました。
	施策・指標	
個別計画・調査	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
その他	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	・7-2-1 の施策について、現行計画にある「多文化共生の視点に立ったまちづくりや都市間の文化交流」との文言が削除されていますが、「様々な取組」に含まれているとは読みづらいため、例示として出した方がよいかと思えます。
ローカル SDGs 指標	施策・指標	
関連する SDGs ゴール (現在の総計評価に掲げるゴールと変更があった場合)		過不足がないか確認してください。特に「11 住み続けられるまちづくりを」には文化財保護の視点が含まれています。

政策 3 市民が愛着をもてるまちづくり

目標

(めざすまちの姿)

まちのさまざまな魅力の向上により、市民が愛着や誇りをもち、
住み続けたいと思えるまち

現状と課題

本市は、高い交通利便性や豊かなみどりなどにより、良好な住環境が形成されています。また、多くの企業や大学が立地しているとともに、市立吹田サッカースタジアムや万博記念公園といった魅力的な地域資源により、多くの人が訪れるまちでもあり、今後開催予定の「2025 大阪・関西万博」を活用するなど、同公園周辺エリア等の一層の活性化や魅力の向上・発信が求められます。さらに、「すいたフェスタ」をはじめとするイベントが盛んであるなど、暮らしにおけるさまざまな面で充実していることが本市の特徴となっています。

市民が愛着や誇りをもち、「住み続けたい」「離れても戻りたい」と思えるまちの実現に向けて、「シティプロモーションビジョン」に基づき、今あるまちの魅力のさらなる向上や新たな魅力づくりに取り組む必要があります。また、市民がまちの魅力を感じられる機会を充実させることで、本市の魅力が市民から市内外へ広がるよう仕掛けていくことが重要です。

本市は、立地する5つの大学などにより、大阪府内で学生数が最も多く、様々な場面で活気をもたらされるなど、まちの魅力向上につながっています。また、市立吹田サッカースタジアムは、Jリーグ「ガンバ大阪」のホームスタジアムであり、レベルの高いプロの試合を身近に体感できるなど、本市の新たな魅力の1つとなっています。市民のまちへの愛着の醸成に向けては、そのような本市独自の強みを積極的に活用していくことも重要です。

市民意識指標
(主に関連するもの)

	H26	R4	R10 目標
市の魅力を伝える取組に満足している市民の割合	7.5%	13%	15%

目標への
評価
(R4)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えばそう思わない
市民	67.7%	26%	5.6%
市職員	80%	17%	3%

令和元年度（2019年度）以降のトピックス

- ・情報発信プラザ（Inforest すいた）がリニューアルオープンしました。
- ・「吹田まつり」を「すいたフェスタ」として生まれ変わらせ、新たな企画を加えて万博記念公園で開催しました。

施 策

7-3-1 魅力の向上と発信

都市魅力部

今ある本市の強みをさらに伸ばしていくとともに、市民との連携を深めながら、新たな魅力づくりに取り組みます。また、地域資源を活用しながら、市民がまちの魅力を感じられる機会の充実を図るとともに、多様な手法による効果的な魅力の発信に取り組みます。

7-3-2 本市独自の強みを生かしたまちづくり

都市魅力部

市の組織全体で大学との連携を進め、豊富な人材、情報、技術などのまちづくりへの活用や貢献を図ります。また、さまざまな団体との連携を深めながらガンバ大阪のホームタウン活動を盛り上げ、地域ぐるみでの応援の機運を高めます。

■ 施策指標 ■

施策	指標名	策定時	見直し時 (R3)	目標 (R10)
7-3-1	<u>すいたフェスタへの参加者数</u> (来場者数)	=	●万人 (R4)	2万人
7-3-1	「情報発信プラザ（Inforest すいた）」への年間入場者数	39.5万人 (H29年度)	17.4万人	45.0万人
7-3-1	<u>すいたん Twitter など</u> <u>SNS フォロワー数</u>	=	●万人	●万人
7-3-2	大学との連携による事業やイベントなどの年間実施回数	96回 (H29年度)	152回	150回
7-3-2	<u>学生の市政への参画意欲の向上率</u>	=	●%	50%
7-3-2	ガンバ大阪と小学生のふれあいイベントなど応援イベントへの年間参加者数	2,032人 (H29年度)	3,245人	5,000人

▶▶▶ 関連する主な個別計画

○シティプロモーションビジョン

▶▶▶ 関連する主な条例

—

第4次総合計画見直しに係る基本計画素案(第2回作業部会検討分) 事務局コメント (本文への事務局追加案は青字点線)

事務局コメント		担当室課コメント・対応
骨子案	現状と課題・トピックス	・中間振り返りシートにあった「健都の魅力発信の取組との連携強化」が触れていませんが、追記しなくてよいでしょうか。
	施策・指標	・新たな施策指標の見直し時の実績、目標値の記入をお願いします。 ・大学との連携による事業やイベントなどの年間実施回数目標値を150回と設定いただいておりますが、R3時点で既に達成済みです。未達成の数値を設定することはできませんか。
中核市移行の視点	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
コロナ禍による影響	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
策定後の主な動向 (見直しの基本方針)	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
個別計画・調査	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	
その他	現状と課題・トピックス	・令和元年度(2019 年度)以降のトピックスとして、中間振り返りシートにあった Inforest すいたのリニューアルや、すいたフェスタの開催を記載しています。
	施策・指標	・【再確認】第2回作業部会の参考資料2でお示した、まち・ひと・しごと創生総合戦略の KPI・数値目標は、次期計画には引き継がれませんが、よろしいですか。
ローカル SDGs 指標	施策・指標	
関連する SDGs ゴール (現在の総計評価に掲げるゴールと変更があった場合)		過不足がないか確認してください。

政策 1 行政資源の効果的活用

目標

(めざすまちの姿)

限られた財源や人材などの行政資源が有効活用され、新たな行政課題に柔軟に対応しながら、持続可能な行政運営が行われているまち

現状と課題

本市の人口は、近年、転入超過による増加傾向が続いていますが、全国的には少子化による人口減少が進んでおり、先行きは不透明な状況です。長期的には市税収入の低下が懸念されます。

また、多くの公共施設で老朽化が進み、施設の更新などにかかる経費が集中する時期を迎えています。公共施設は全ての人が安全快適に利用できるよう、最適な整備・配置・維持保全を行い、トータルコストの縮減や財政負担の平準化に努める必要があります。

中核市への移行に伴い、市民に身近な基礎自治体として、幅広い分野の事務をより一層効果的・効率的に進めていくことが求められています。また、中核市を含む他自治体との広域連携など、スケールメリットや相互補完性による効率的な自治体運営も必要です。PDCA サイクルのもと、実施した取組の成果や課題を検証したうえで、その結果を翌年度以降の取組につなげていくとともに、市民ニーズや時代の変化を的確にとらえ、SDGs ゴールも見据えながら、様々な行政課題に柔軟に対応できる人材の確保・育成に努めることが重要です。一方で、ワーク・ライフ・バランスの実現など、職員が働きやすい環境づくりも進めていく必要があります。

ICT の利活用を通じ、分野を超えたあらゆる業務と組織の変革を進めるデジタル・トランスフォーメーション (DX) を推進することで、市民の利便性の向上を図ることが喫緊の課題となっています。DX 推進によって、限られた財源と人材の有効活用を図り、平常時はもとより災害発生や感染症感染拡大などの非常時においても持続可能な組織としていくことが必要です。

目標への評価
(2022)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えばそう思わない
市民	39.2%	46.2%	14.1%
市職員	53%	35%	12%

令和元年度 (2019 年度) 以降のトピックス

- ・近隣中核市 4 市による連携を開始し、人事交流や労働相談、温暖化対策等の取組を共同実施しました。
- ・中核市移行により包括外部監査を活用し、内部統制の強化を図りました。
- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、DX 推進への期待がこれまで以上に高まっており、キャッシュレス決済の導入などを進めています。
- ・RPA の導入に取り組むなど、業務の正確性向上、行政サービスの効率化、迅速化を推進しました。



施策

8-1-1 効果的・効率的な行財政運営の推進

行政経営部

行政評価の取組を強化しながら、その結果を実施計画、予算に反映し、行政課題に効果的・効率的に対応します。また、中核市としての権限の発揮や、近隣自治体などとの広域連携に努めます。併せて、民間活力の導入も含めた業務プロセスの改善によって、簡素で効率的な行政組織の構築を図ります。

8-1-2 公共施設の最適化

都市計画部

学校や公民館などの一般建築物のほか、道路や上下水道なども含めた公共施設について、日常的な維持管理や老朽化した施設の更新などを適切に行うとともに、施設の複合化や集約化、公有地の利活用を図るなど、総合的かつ計画的な管理を進めます。

8-1-3 人材育成の推進

総務部

時代の変化を見据えながら、行政課題に適切かつ柔軟に対応できる職員を育成するとともに、職員が能力を発揮できる組織づくりを行うため、市民対応能力や政策立案能力の向上などを目的とした職員研修の充実や人事評価制度の活用などを進めます。

8-1-4 ICTの利活用

行政経営部

市民の利便性の向上や行政運営の効率化を図るため、ICTの利活用を進めます。また、ペーパーレス、キャッシュレス、サステナブルな市役所をめざし、自治体DXの推進を図ります。災害発生時などにおける行政サービスの継続性を確保するとともに、情報セキュリティの脅威に対応するため、情報システムの強化を図ります。

■ 施策指標 ■

施策	指標名	策定時	見直し時 (R3)	目標 (R10)
8-1-1	<u>財政調整基金残高の標準財政規模に対する割合</u>	106 億円 (H28 年度)	●●%	20%
8-1-1	公債費比率	7.5% (H28 年度)	7.5%	10%以下
8-1-2	<u>公共施設（一般建築物）個別施設計画に基づき実施した対策の割合</u>	=	●●%	100%
<u>8-1-3</u>	<u>職員 1 人当たりの年間研修受講回数</u>	<u>5.9 回</u> <u>(H29 年度)</u>	<u>2.8 回</u>	<u>7 回</u>
<u>8-1-3</u>	<u>外部派遣研修参加者数</u>	=	●●人	700 人
8-1-4	ICT を活用した行政サービスの稼働 休止時間	144 分 (H29 年度)	0 分	0 分
8-1-4	<u>行政手続きのオンライン申請件数</u>	=	55,111 件	100,000 件

▶▶▶ 関連する主な個別計画

- 公共施設総合管理計画 ○公共施設（一般建築物）個別施設計画 ○市営住宅長寿命化計画
- 舗装長寿命化修繕計画 ○橋梁長寿命化修繕計画 ○公園施設長寿命化計画 ○下水道ストックマネジメント計画
- すいすいビジョン2029 ○資源循環エネルギーセンター長寿命化総合計画 ○情報化推進計画
- 人材育成基本方針 ○職員体制計画 ○特定事業主行動計画 ○障がい者活躍推進計画

▶▶▶ 関連する主な条例

—

第4次総合計画見直しに係る基本計画素案(第2回作業部会検討分) 事務局コメント (本文への事務局追加案は青字点線)

事務局コメント		担当室課コメント・対応
骨子案	現状と課題・トピックス	・中間振り返りシートでは、「ワーク・ライフ・バランス」「他自治体との連携の可能性」の視点を盛り込むとありましたが、修正案には入っていませんでした。SDGs も含め、文案を作りましたので確認をお願いします。
	施策・指標	・8-1-3 の指標について、目標を達成したものについては、指標の置き換えを行っていますが、コロナ関連で目標の達成が難しい場合などは、目標値を下方修正するか、他の指標で補完することとしています。よって、新たな指標は追加としています。目標値の再考もお願いします。 ・8-1-4 のICTの利活用の施策について、DX 推進に係る修正案を入れましたので、確認してください。
中核市移行の視点	現状と課題・トピックス	・「R1 以降のトピックス」に NATS 連携、包括外部監査などの中核市移行による取組を記載していますので、確認してください。
	施策・指標	
コロナ禍による影響	現状と課題・トピックス	・「R1 以降のトピックス」に DX 推進への期待が高まった旨を入れていますので、確認してください。
	施策・指標	
策定後の主な動向 (見直しの基本方針)	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	

事務局コメント		担当室課コメント・対応
個別計画・調査	現状と課題・トピックス	
	施策・指標	<p>・「関連する主な計画」について 公共施設の最適化に関連し、市営住宅、舗装、橋梁などの修繕計画を追加いただいておりますが、一般に公開されていない内部計画的なものも多く、また個別施設計画のさらに詳細な計画といった位置づけであれば、総合計画には記載しないという判断をしてもよいかと思っておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>記載が必要と判断いただいた場合、以下の点について、確認をお願いします。 ○公営住宅等長寿命化計画 →○市営住宅長寿命化計画に修正しています。 ○舗装長寿命化修繕計画 →名称の確認ができませんでした。再確認をお願いします。 ○橋梁個別施設計画 →○橋梁長寿命化修繕計画に修正しています。 ○破碎選別工場等長寿命化総合計画 →○資源循環エネルギーセンター長寿命化総合計画に修正しています。</p>
その他	現状と課題・トピックス	<p>・現行計画にある「社会保障関係経費の増加が見込まれています。」が削除されていますが、課題として解消されたということでしょうか。</p> <p>・市税収入の「減少」としていたのが「低下」に変わったのは理由がありますか。</p> <p>・現行計画にある「持続可能なまちづくり」「効率的な組織運営」が削除された理由はありますか。</p>
	施策・指標	
ローカル SDGs 指標	施策・指標	
関連する SDGs ゴール (現在の総計評価に掲げるゴールと変更があった場合)		<p>過不足がないか確認してください。行政経営の視点から「8 働きがいも経済成長も」は該当しませんか。</p>